



# 2024年3月期 通期 決算説明資料

May 15<sup>th</sup>, 2024

株式会社リビングプラットフォーム  
(証券コード：7091)

# 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1. エグゼクティブサマリー     | 3  |
| 2. 2024年3月期 連結決算業績 | 5  |
| 3. 各事業の状況          | 30 |
| 4. 株主還元について        | 42 |
| 5. SDGs/ESGsへの取組み  | 44 |
| 6. 会社概要および事業領域等    | 48 |



# エグゼクティブサマリー

## エグゼクティブサマリー

- ✓ 売上は期首業績予想に対し、約1.5%の未達であるものの、FY23.3に対し+21.7%となった
- ✓ 営業利益は-81百万円の赤字となったが、2023年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、コロナ下で他業種から入職した人材の流出と思われる離職が多数発生したことで、既存事業所の受入態勢や営業体制が不安定となり、売上の低下を招いたことが大きな要因の一つであった
- ✓ 人材流出および多くの新規開設による緊急の人材需要等が発生し、一時的な派遣社員の雇い入れや募集広告費用などが嵩んだ。ただし2024年3月までにその傾向はほぼ解消した
- ✓ 人員不足による営業体制の不安定化は、入居紹介費用の高騰も招いた
- ✓ 障がい者支援事業についても、運営体制の整備に時間を要しており、業績が伸び悩んだが、現状整いつつあり、FY25.3以降は黒字化を見込む
- ✓ 通常リース等で5-6年の期間計上とする新規施設開設に関わる費用が補助金受給の要件から全て現金支払いとなったため、多くが費用計上となり、見た目の営業利益が圧迫されている。当該助成金については、営業外収益として計上された
- ✓ 新型コロナウイルス感染症に関わる補助金（約60百万円）、および物価高騰に対応する補助金（約130百万円）を営業外利益として計上したが、FY25.3以降は大幅に削減される見込み。ただし物価高騰については価格転嫁とし売上計上するため、営業利益に貢献する予定
- ✓ 介護事業では、一部の新規大型事業所の稼働率が定常化までに時間を要し、想定を下回る実績となったが、2024年4月以降では回復が進んでおり、2025年3月期中には定常化していく見込みである
- ✓ 特定技能外国人の雇い入れを積極的に進めており、2024年3月末で51名、また2024年4月以降入社人数は既に60名以上を予定
- ✓ 懸念の一つであったブルー・ケア(株)については、順調な改善が進み、計画を上回る利益を創出した



# 2024年3月期 通期 連結決算業績

# 連結決算ハイライト

## 連結売上高

対前年同期比 **+21.7%**

1-2Qの事業開発・M&Aにより  
順調に伸長

## 連結営業利益

**-81**百万円

新規開発の消耗品等を補助金（営業外）  
受給としたために、見た目では  
90百万円の費用が発生

## ブルー・ケアの黒字化

計画比 **+35.4%**

2021年に買収したブルー・ケア(株)が  
想定以上の黒字化

# 連結決算ハイライト

## 運営

採用体制の刷新・強化  
エネルギー・食糧価格高騰対策

### 採用体制の刷新・強化

- FY24.3においては、COVID-19の5類移行の結果、COVID-19下で入職した人材の流出が大きく影響した。採用データ分析を進め、効率的な採用および流出が防止できる体制を構築中

### エネルギー・食糧価格高騰対策

- FY24.3では電気料金が助成金によって抑制されていたが、2024年6月以降の助成金終了により再度2023年2月以前の水準になると想定されるため、食料品価格高騰とあわせ、価格転嫁により対応する
- 一部事業所では太陽光パネルを年内に設置

## 財務

自己資本比率を向上  
借入金を返済しうる体制の構築

### 自己資本比率向上方針の継続

- FY25.3以降、開発を抑制することで利益の積み上げ、現預金の確保と自己資本比率の向上に努める
- 現時点では一定規模以上のM&Aが進まない限り増資は検討していない

## 教育・管理

採用と教育の強化  
管理部門の効率性向上

### 採用と教育の強化

- 特定技能外国人採用は順調に進み、更に推進する予定
- 社内教育の質の向上と教育拠点の拡大を継続中

### 管理部門の効率性向上

- FY24.3においてDXの第一段階を完了
- 今後はデータ活用による業務改善に注力

## コンプライアンス・ガバナンス

内部統制の強化・定着

### 内部統制の強化・定着

- コンプライアンス監査および内部統制監査においてもデータ活用を推進し、効率性を向上

## 🌸 連結貸借対照表の概況

- ✓ 1Qにおけるエコ社よりの事業承継を全て現金を対価としたため、現預金は減少（事業承継費用は先期において借入済）するとともに4.1億円ののれん代が計上されている
- ✓ 2Qでは7事業所の新規開発を実施したことにより、土地・建物等も増加
- ✓ 想定していたS&LBを実施しなかったため、自己資本比率は期首想定には到達していない

(百万円)

|             | FY23.3 期末<br>実績 | FY24.3 通期<br>期首予想 | FY24.3 通期<br>修正予想 | FY24.3 通期<br>実績 | 前期末増減   | 業績予想<br>との差 |
|-------------|-----------------|-------------------|-------------------|-----------------|---------|-------------|
| 流動資産        | 4,413           | 4,351             | 4,185             | 3,256           | △ 1,158 | △ 929       |
| (現預金)       | 1,882           | 3,006             | 1,252             | 1,128           | △ 755   | △ 124       |
| 固定資産        | 6,999           | 7,139             | 8,128             | 7,933           | 933     | △ 195       |
| (土地・建物等)    | 3,615           | 2,780             | 3,440             | 4,334           | 719     | 894         |
| 資産合計        | 11,412          | 11,746            | 12,313            | 11,189          | △ 224   | △ 1,124     |
| 流動負債        | 3,989           | 2,579             | 4,025             | 3,020           | △ 970   | △ 1,005     |
| 固定負債        | 5,951           | 7,029             | 6,570             | 6,506           | 554     | △ 64        |
| 負債合計        | 9,940           | 9,608             | 10,596            | 9,526           | △ 415   | △ 1,070     |
| 純資産         | 1,471           | 2,138             | 1,717             | 1,662           | 190     | △ 55        |
| 負債純資産合計     | 11,412          | 11,746            | 12,313            | 11,189          | △ 224   | △ 1,124     |
| 自己資本比率      | 12.9%           | 18.2%             | 13.9%             | 14.9%           | 2.0%    | 1.0%        |
| 借入金等（長短借入金） | 6,337           | 5,911             | 5,290             | 5,369           | △ 968   | 79          |



# 連結貸借対照表の四半期推移 (FY23.3 – FY24.3)

(単位：百万円)

|         | FY23.3 |        |        |        | FY24.3 |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|         | 1Q     | 2Q     | 3Q     | 4Q     | 1Q     | 2Q     | 3Q     | 4Q     |
| 流動資産    | 3,599  | 3,351  | 3,812  | 4,413  | 3,617  | 3,351  | 3,702  | 3,256  |
| (現預金)   | 1,542  | 1,273  | 1,551  | 1,882  | 1,037  | 1,273  | 1,077  | 1,128  |
| 固定資産    | 6,897  | 7,142  | 7,150  | 6,999  | 7,862  | 7,142  | 7,896  | 7,933  |
| (土地建物等) | 3,675  | 4,087  | 4,056  | 3,615  | 4,191  | 4,087  | 4,332  | 4,334  |
| 資産合計    | 10,500 | 10,497 | 10,965 | 11,412 | 11,480 | 10,497 | 11,599 | 11,189 |
| 流動負債    | 2,885  | 2,793  | 3,255  | 3,989  | 3,566  | 2,793  | 3,482  | 3,020  |
| 固定負債    | 6,187  | 6,259  | 6,301  | 5,951  | 6,398  | 6,259  | 6,565  | 6,506  |
| 負債合計    | 9,072  | 9,052  | 9,557  | 9,940  | 9,964  | 9,052  | 10,048 | 9,526  |
| 純資産     | 1,427  | 1,444  | 1,407  | 1,471  | 1,515  | 1,444  | 1,550  | 1,662  |
| 負債純資産合計 | 10,500 | 10,497 | 10,965 | 11,412 | 11,480 | 10,497 | 11,599 | 11,189 |
| 自己資本比率  | 13.6%  | 13.8%  | 12.7%  | 12.9%  | 13.2%  | 13.8%  | 13.3%  | 14.9%  |
| 借入金等    | 5,762  | 5,715  | 6,088  | 6,337  | 6,234  | 5,715  | 6,051  | 5,369  |

## 🌸 連結損益計算書の概況

- ✓ 2021年10月に承継したブルー・ケアの業績改善、助成金による水道光熱費高騰の抑制等により、期首に想定していた減益要因は乗り切った
- ✓ 売上高についても、期首予想に比べ約1.5%減とほぼ予想通りに着地した
- ✓ コロナ以降、飲食等他業界から入職した職員が景気回復とともに急激に退職したため、3Q以降急速に採用コストが増加した
- ✓ 急激な離職により既存事業の稼働が落ち、利益の低下に加速をかけた
- ✓ 4Qにおいて受贈益が発生するも、3Qにおいて、DX促進のために実行したシード企業への投資が全額減損することになり、また監査法人との協議によりのれん代の償却の積み増しを行うことにもなり、利益を圧迫した
- ✓ 2024年3月末までに多くの既存事業の稼働は復調し、採用環境も平時に戻りつつある

(百万円)

|                 | FY23.3 通期<br>実績 | FY24.3 通期<br>期首予想 | FY24.3 通期<br>修正予想 | FY24.3 通期<br>実績 | 対予想進捗率 |
|-----------------|-----------------|-------------------|-------------------|-----------------|--------|
| 売上高             | 13,694          | 16,928            | 16,609            | 16,662          | 100.3% |
| 営業利益            | △234            | 246               | △93               | △81             | -      |
| %               | △1.7%           | 1.5%              | △0.6%             | △0.5%           |        |
| 経常利益            | △35             | 266               | 122               | 197             | 161.5% |
| %               | △0.3%           | 1.6%              | 0.7%              | 1.2%            |        |
| 税金等調整前当期純利益     | 218             | 266               | 231               | 258             | 111.7% |
| %               | △0.0%           | 1.6%              | 1.4%              | 1.5%            |        |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 91              | 182               | 189               | 189             | 100.0% |
| %               | 0.7%            | 1.1%              | 1.1%              | 1.1%            |        |

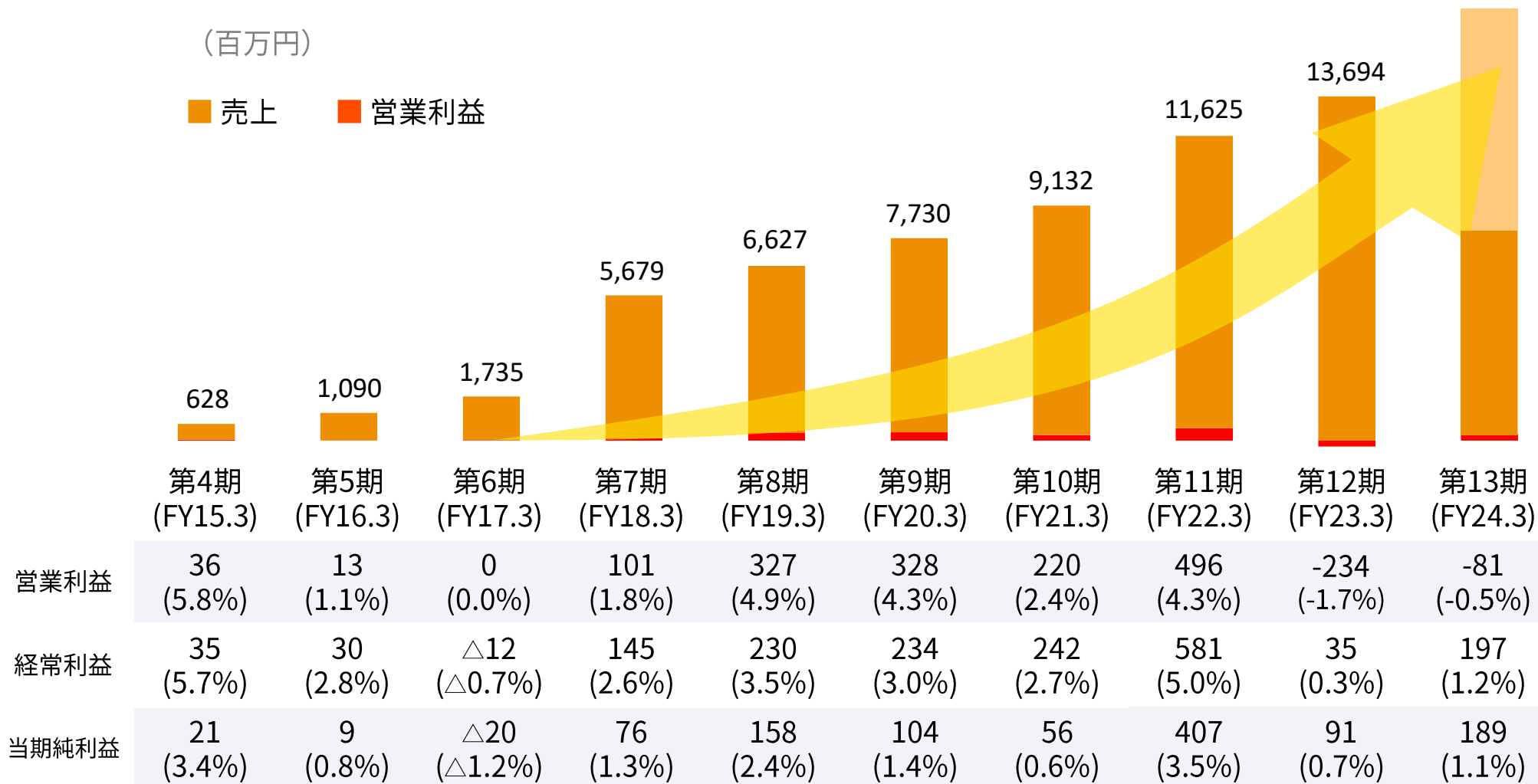


# 売上と営業利益、経常利益、税前利益、当期純利益の推移

(百万円)

■ 売上 ■ 営業利益

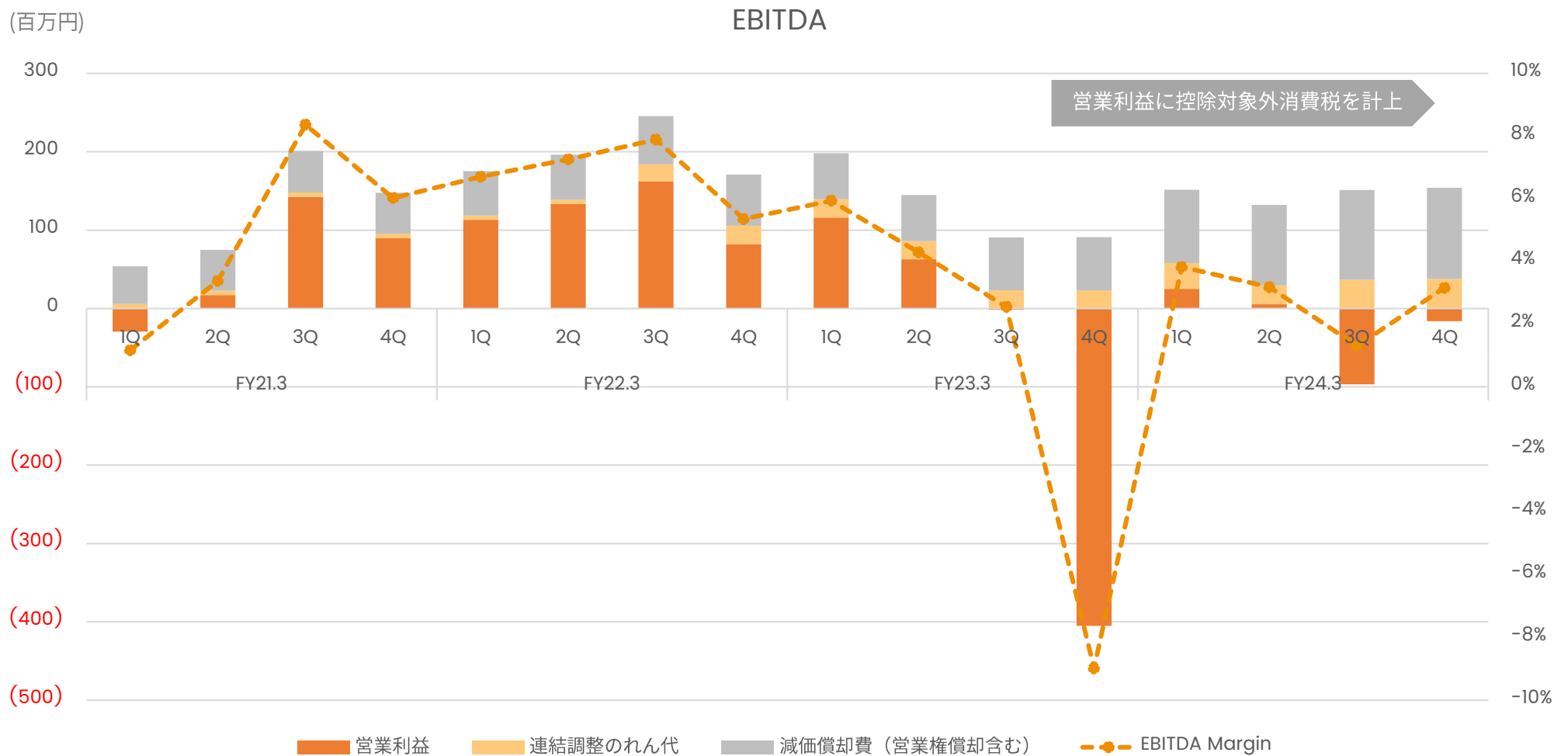
実績 **16,662**  
対前年 **+21.7%**



備考：第6期以前は単体、第7期からは連結  
第13期は業績予想値

# EBITDAの四半期推移

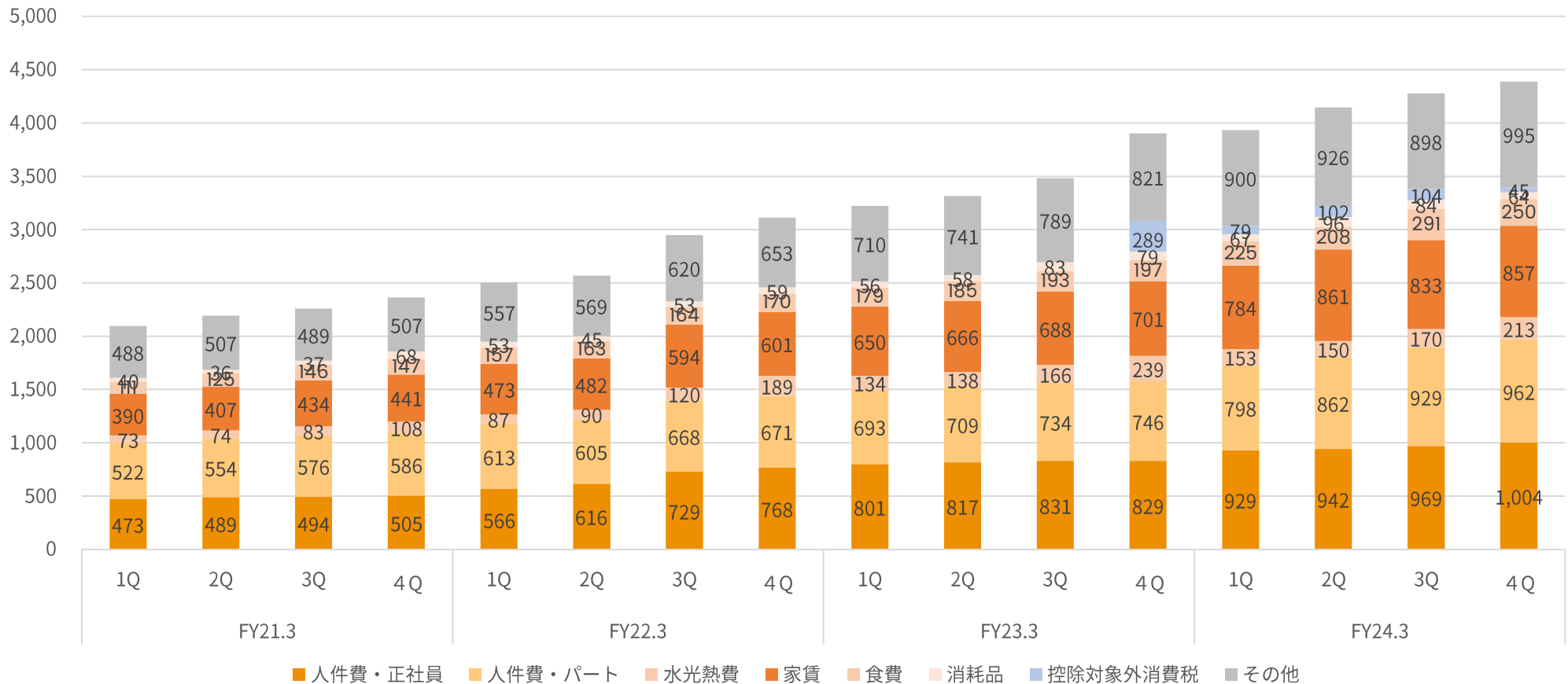
- ✓ FY23.3, 4Qより控除対象外消費税を販管費に計上することとしたため、見かけ上の営業利益は下がったが、成長軌道に変化はない
- ✓ FY24.3 3Qは、EBITDAマージンがマイナスに落ち込んだが、4Qでプラスに転じた



# 売上原価・販売費および一般管理費の構造

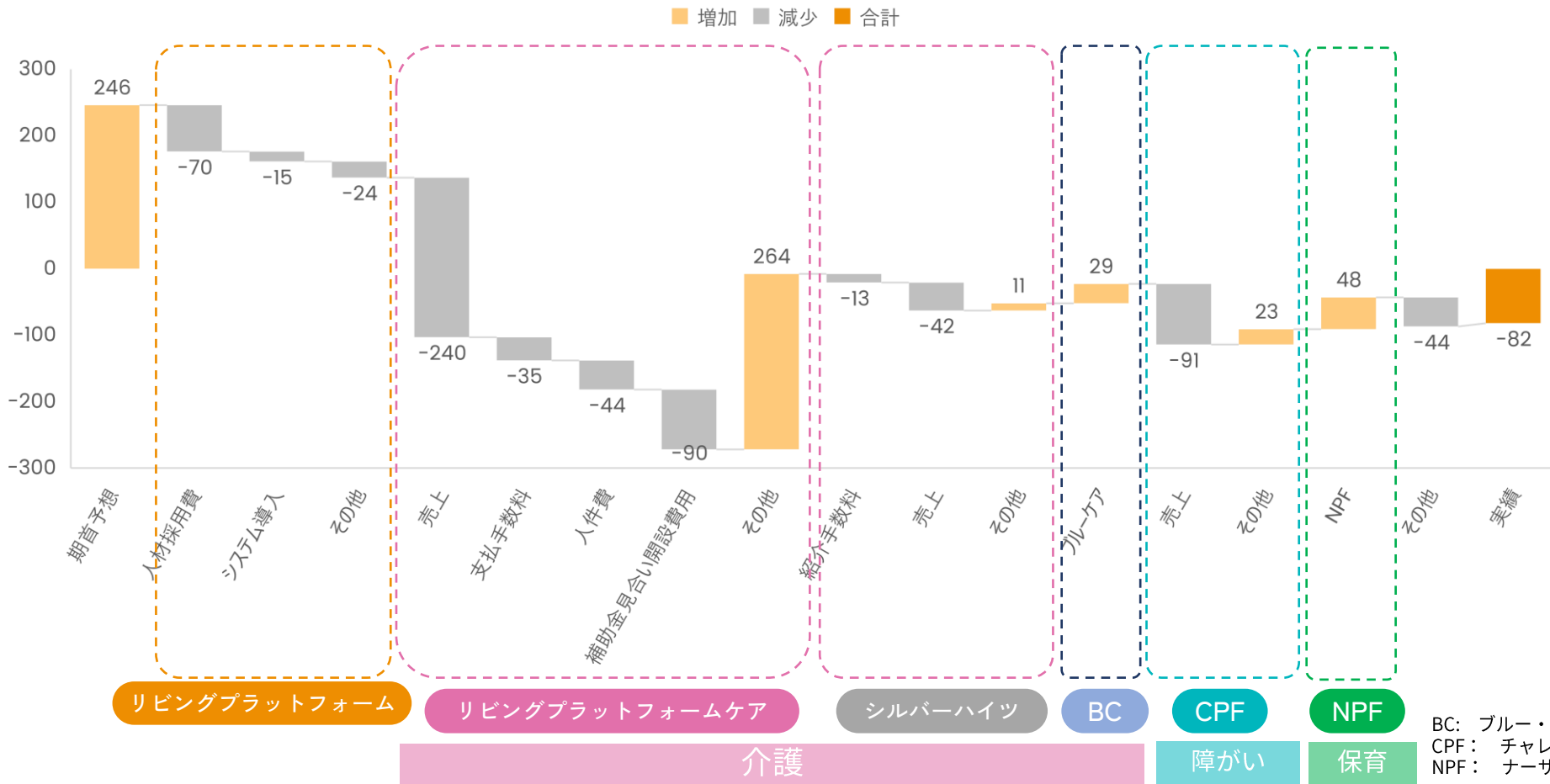
- ✓ 新規開設した施設のみならず、既存事業においても離職を補うため、採用に関わる紹介料・募集広告費、人件費が増加
- ✓ 食費は物価上昇の影響を大きく受けたが、今後も仕入れ価格の高騰に対応した値上げを行う予定
- ✓ 水道光熱費はFY24.3は助成金により抑制されていたが、2024年6月以降は助成金が終了し、また主要事業地域において値上げが想定されているため、今後実績値の注視を行う
- ✓ 消耗品については適宜使用の抑制や物品の選定を行い、購買管理を強化している
- ✓ DX等推進のため本部職員の採用費が一時的に膨らんでおり、FY23.3およびFY24.3は一定の支出があった

(百万円)



# 🌸 FY24.3 営業利益における主な減益要因

- ✓ シルバーハイツにおいては長期入居者の逝去・長期入院による退去が一時的に急増し、入居金含む収入が減少
- ✓ LPF：売上300億円に対応する組織体制にむけて、本部人員確保のための手数料、DX化でのシステム導入等により、109百万円の費用が増加した
- ✓ LPFC：売上が大きく計画を下回るとともに、人員不足により採用手数料・人件費が増加した
- ✓ CPF：運営体制の再構築に時間がかかったために入居が伸び悩んだことに加え、人材採用費用も嵩んだため、約70百万円の減益要因となった



BC: ブルー・ケア  
 CPF: チャレンジプラットフォーム  
 NPF: ナースリープラットフォーム

# 🌸 減益要因 1：売上低下

- ✓ リビングプラットフォームケアの売上が計画比 -240百万円となったが、上位2施設（新規開設）で -209百万円を占めており、この2施設の入居が進むことで利益は大幅に改善される。2024年4月以降の新規入居契約も進んでおり、FY25.3 第1四半期末までには稼働率は20%以上改善する見込み

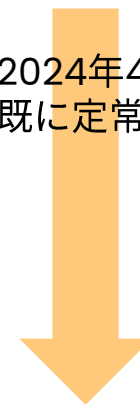
## 今後の対応策

運営体制の安定化  
稼働率の向上

### FY24.3 売上実績 未達上位施設

| 施設名             | 計画との差 | 2024年4月末稼働率 | 新規施設 |
|-----------------|-------|-------------|------|
| ライブラリ練馬谷原       | -128  | 52.5%       | ●    |
| ライブラリ志村坂上       | -81   | 36.6%       | ●    |
| ブルースター北円山       | -75   | 71.0%       |      |
| フループライフガーデン     | -26   | 87.3%       |      |
| ライブラリ取手         | -23   | 90.6%       |      |
| ライブラリ大森東五丁目(特定) | -22   | 94.9%       |      |
| ライブラリ生田(GH)     | -20   | 100.0%      | ●    |
| ライブラリ大森東2番館(GH) | -17   | 88.9%       |      |
| ライブラリ東大宮二番館     | -16   | 90.5%       |      |
| ブルースター神楽        | -14   | 87.0%       |      |

2024年4月末時点で  
既に定常化済み

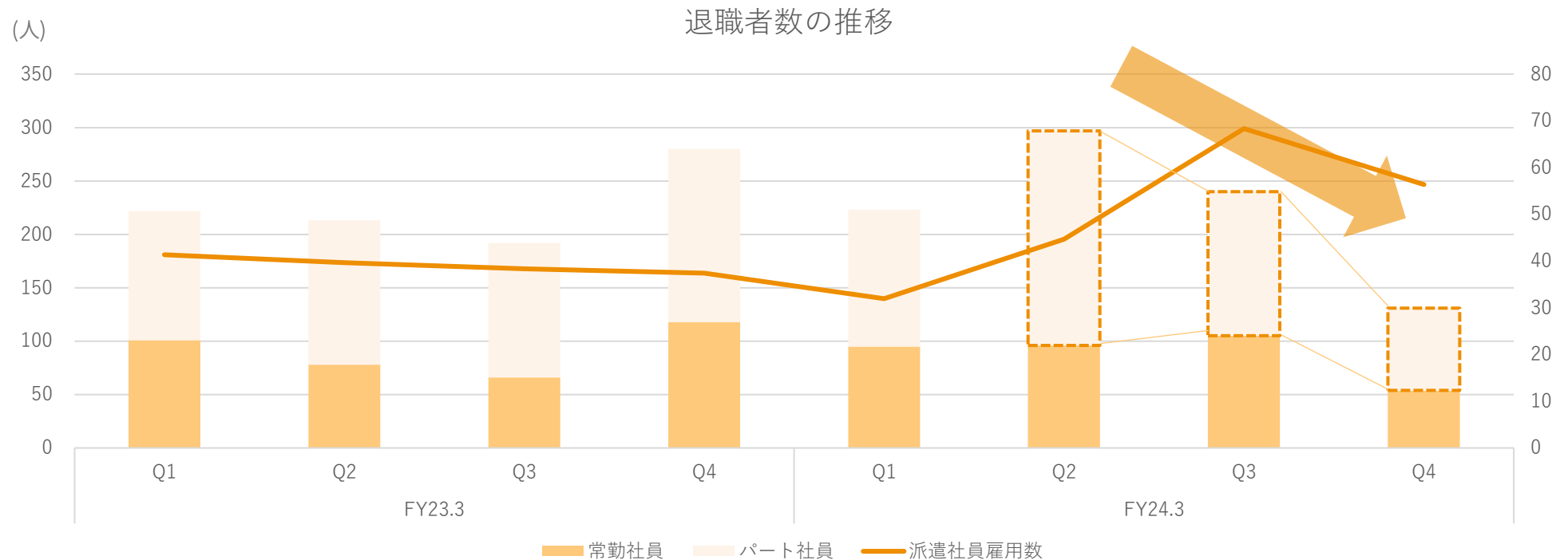


## 🌸 減益要因 2：一時的な退職者の増加

- ✓ 2Q-3Qには景気の回復が主因と捉えられるコロナ下で他業種から入職した職員の退職が一時的に相次ぎ、新規事業のみならず既存事業においても稼働率が低下するとともに、採用及び派遣費用が膨大に生じた
- ✓ 4Q以降は抑制傾向にあり、2024年4月以降は平常時に戻ると想定している

### 今後の対応策

定着率の高い特定技能外国人の採用をさらに推し進める  
人事制度改革により退職率の低減を図る





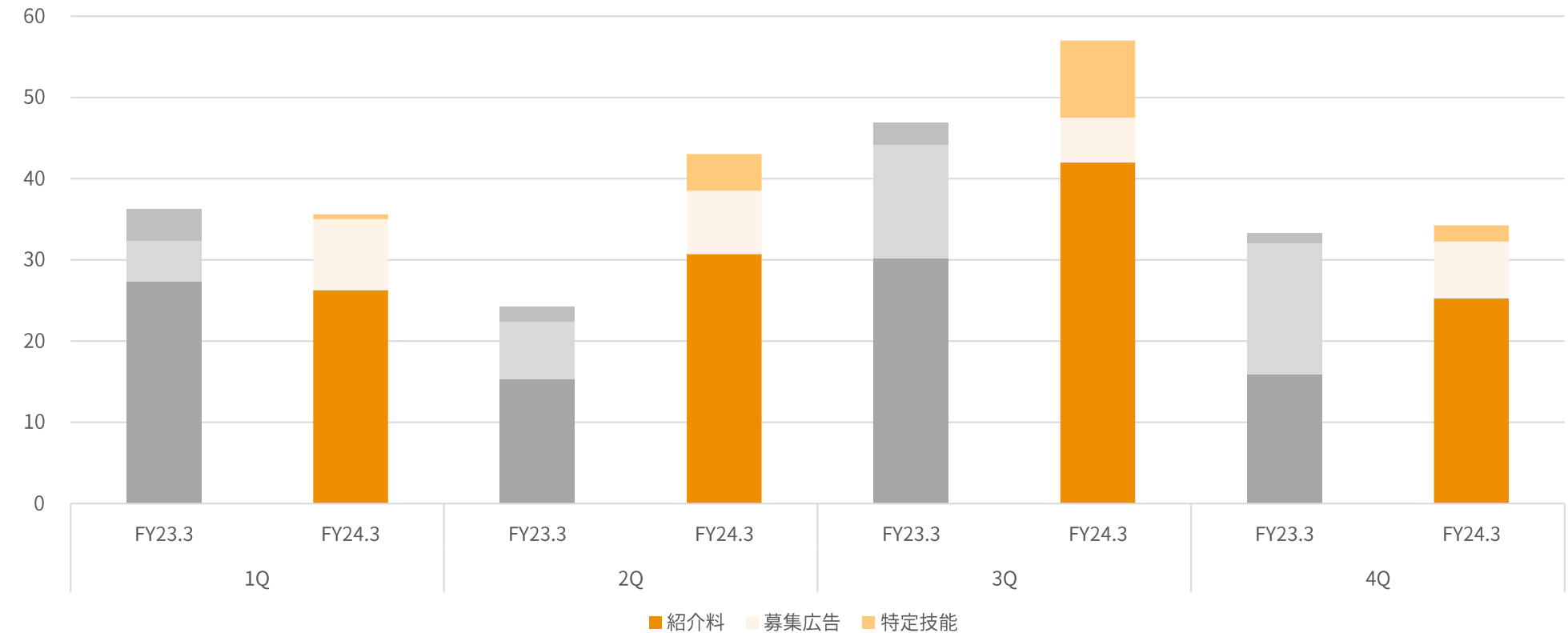
## 減益要因3：採用関連費の上昇

- ✓ 既存施設での退職者の急増に加え、新規開設増加に伴い、継続的な採用が必要とされるなか、景気の回復と共に採用コストが急騰した
- ✓ 積極的な特定技能外国人採用により、受入初期費用が増大したが、今後の定着への先行投資として考えている

### 今後の対応策

DXにより効率的な採用活動を実施  
リファラル採用の強化

(百万円)

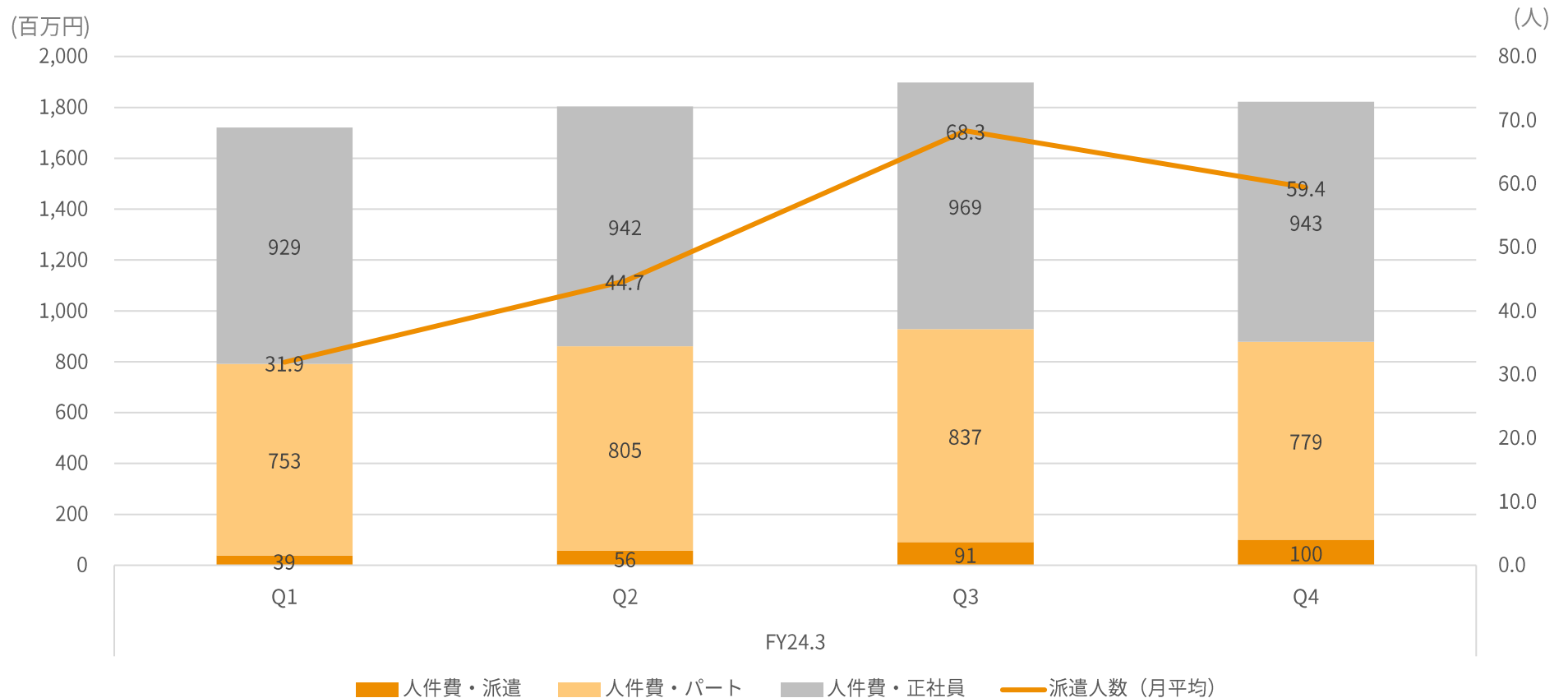


## 減益要因 4：人件費の高騰と派遣社員の増加

- ✓ 景気回復により、コロナ中に他業種から入職した人材の流出と思われる離職が多数発生したこと、および多くの新規開設による緊急の人材需要等のため、人員不足が発生。一時的に派遣社員で補ったことにより派遣費用が増加

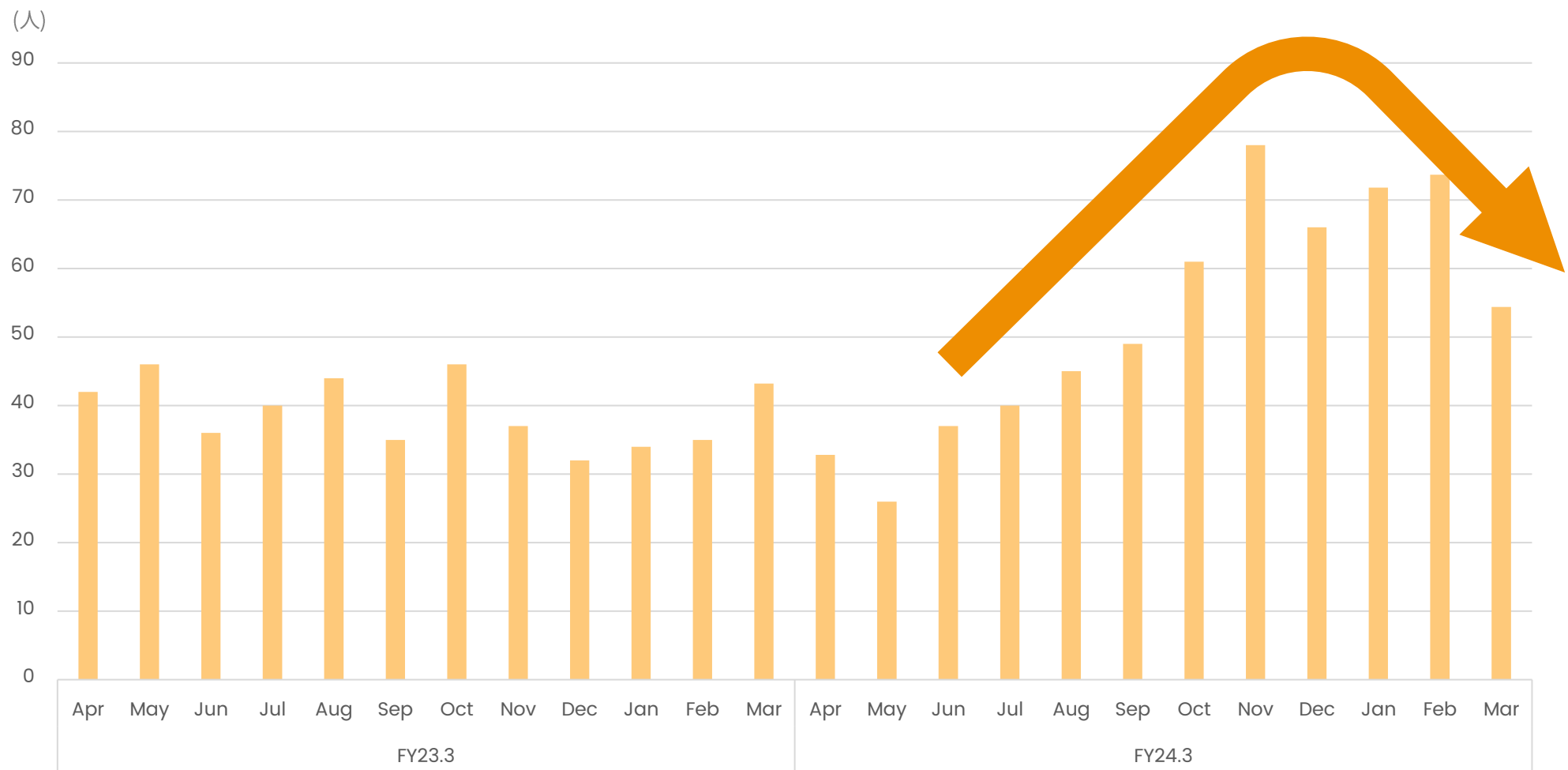
### 今後の対応策

新規開設の抑制  
採用活動のDX



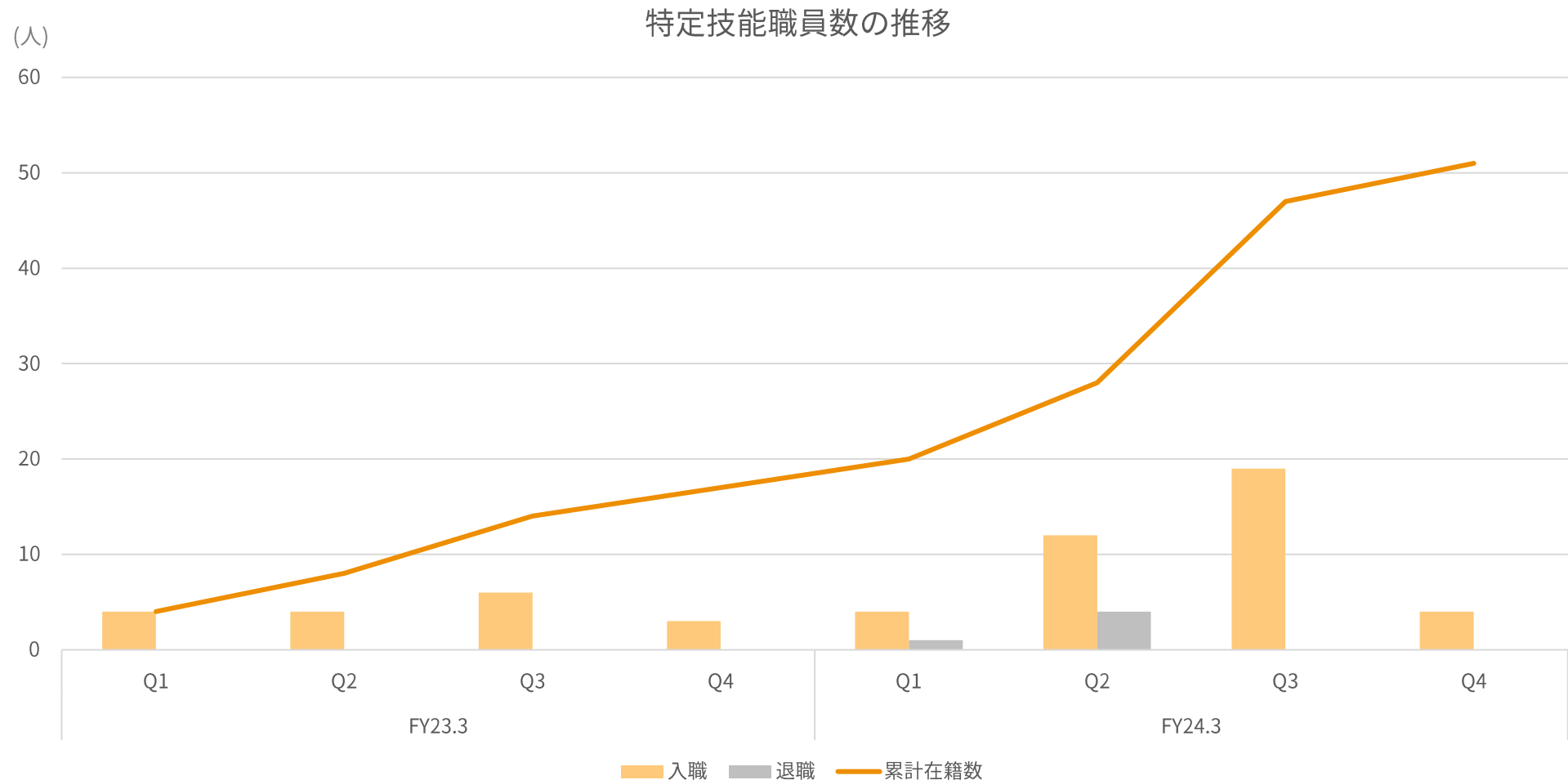
## 派遣職員数の推移

- ✓ 2-3Qに退職者が急増したこと、および新規開設の入居需要が想像以上に強かった等により、一時的な労働力確保のため、3-4Qの派遣社員数が増加したが、職員の雇用が進んだことにより、派遣職員数は既にピークアウトしている



# 特定技能外国人採用の状況

- ✓ 積極的な特定技能外国人採用により、受入を拡大している
- ✓ 日本人職員に比べ、定着率が高く、受入初期費用は発生するものの、長期的には職員確保として有効な手立てであり、引き続き特定技能外国人の採用を進めていく

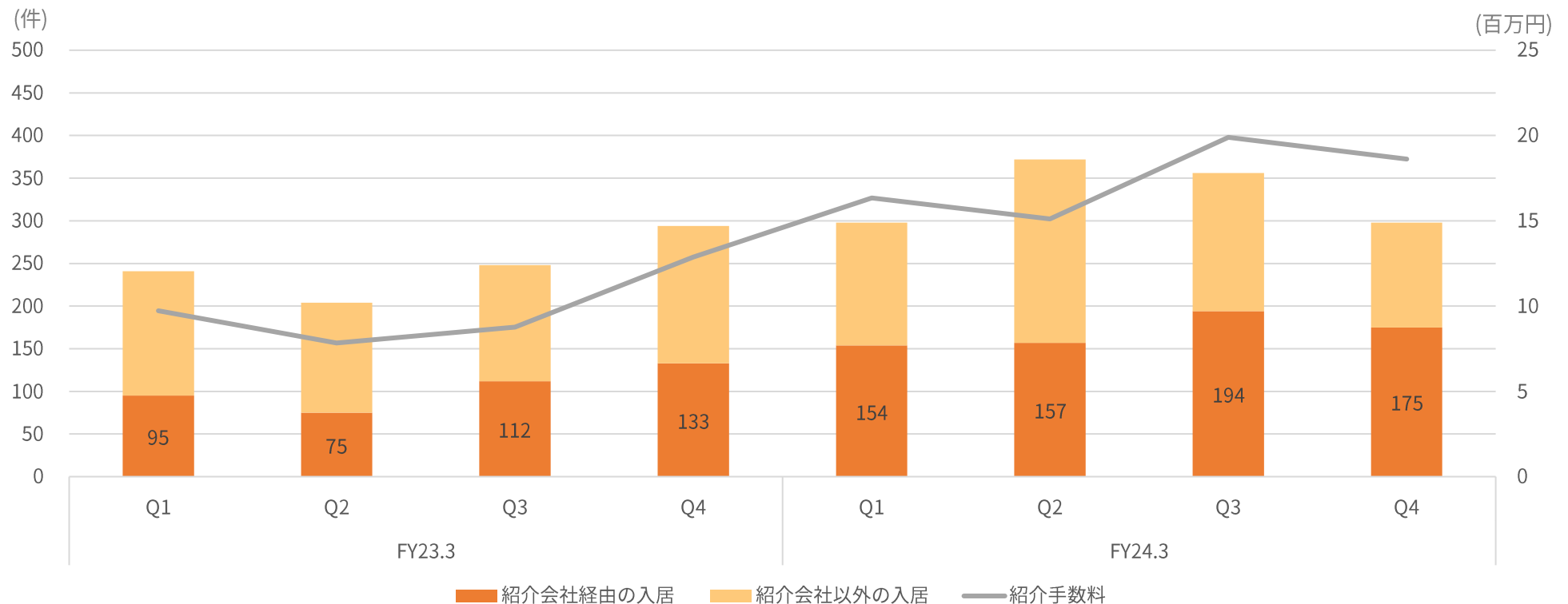


## 減益要因 5：入居紹介手数料の増加

- ✓ 人員不足により入居営業を担っていた職員の活動が抑制され、紹介会社経由での入居が増加
- ✓ 1名あたりの紹介費用は、昨年に比べ、**+7.7%**上昇
- ✓ 入居促進費用については、DXによりデータの蓄積が可能となったため、今後効率的な促進活動を整備していく

### 今後の対応策

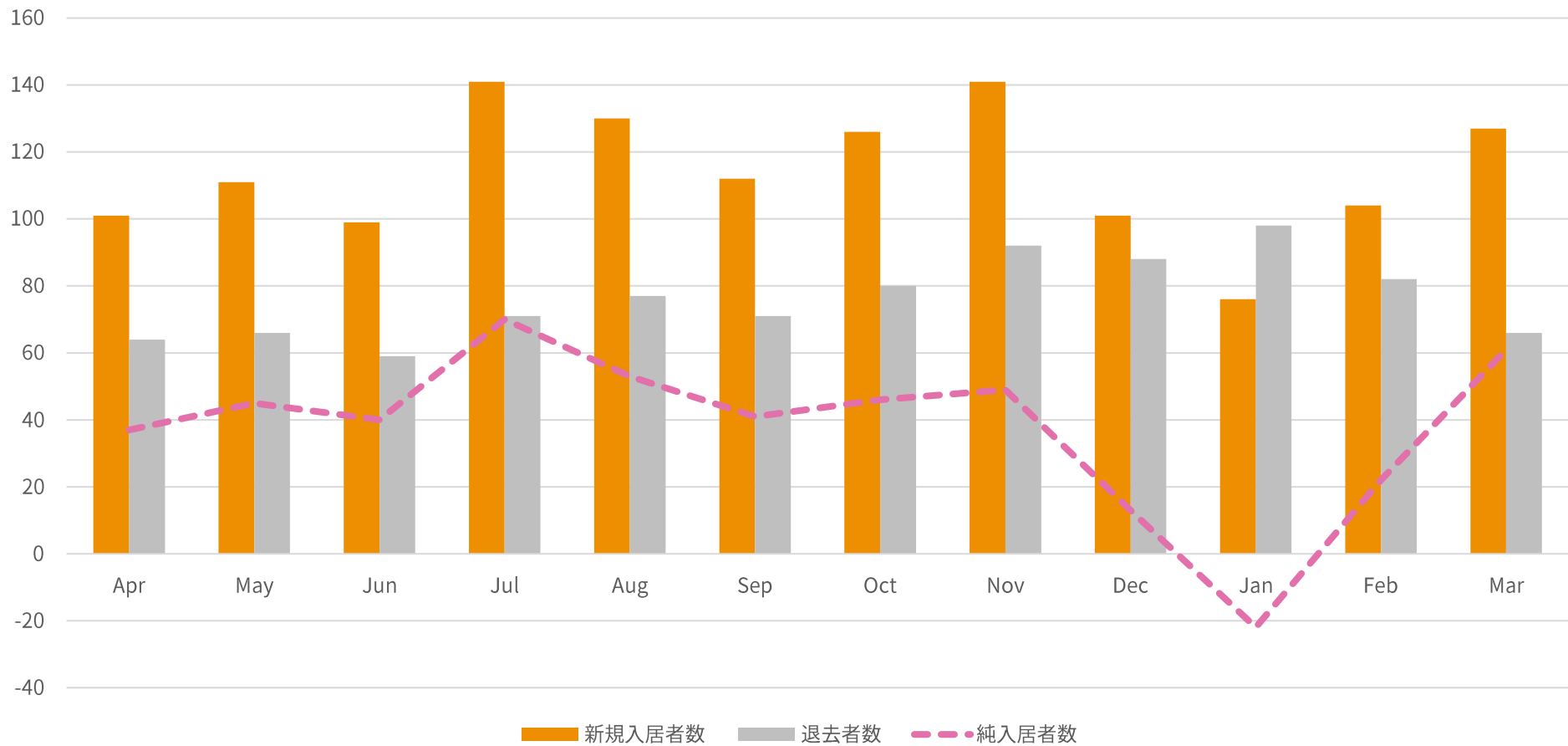
入居営業人員の拡充  
入居営業体制のDX



# 入退去の状況

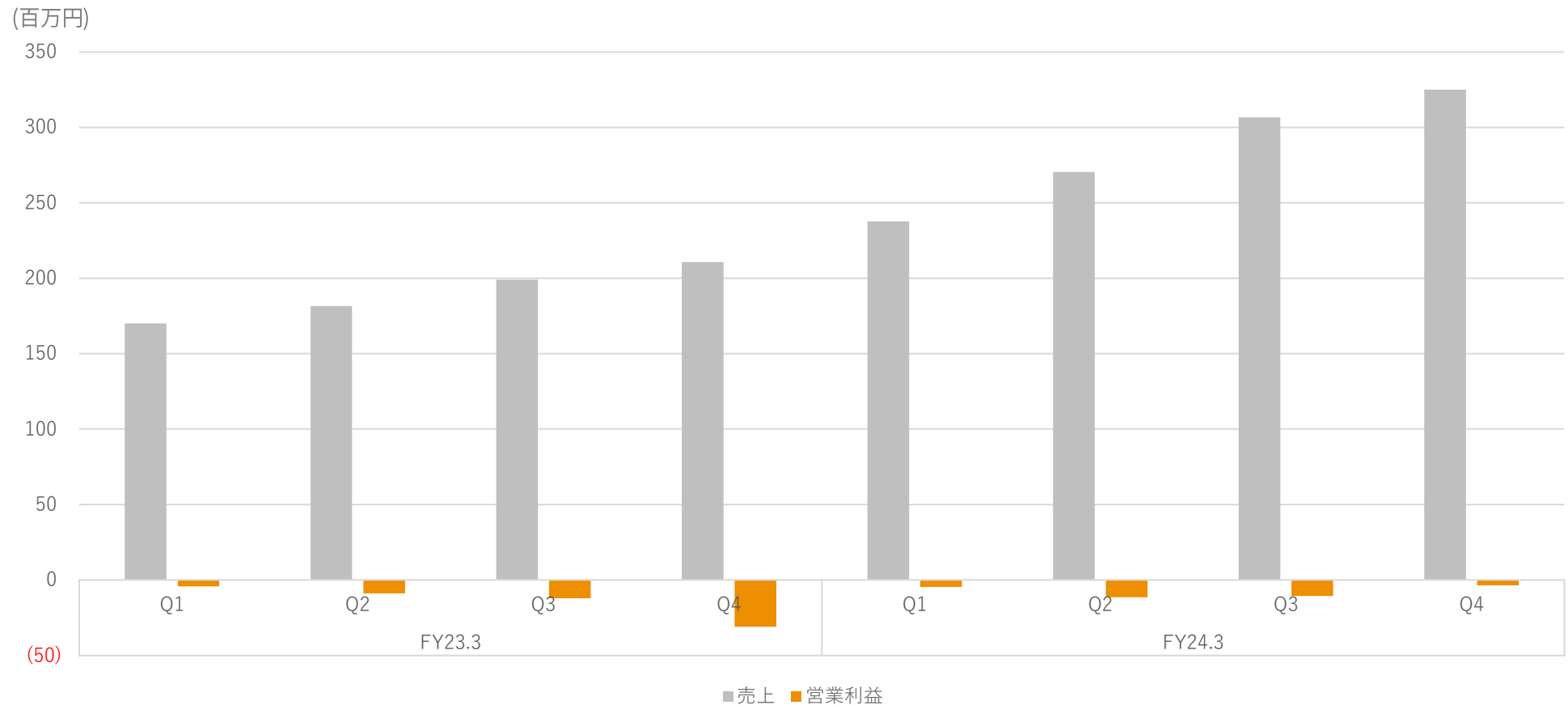
- ✓ 純入居者は増加傾向にあり、FY25.3以降では開発を抑制していることから、FY25.3内には全施設において空室率が低下し、付随する入居紹介費用も減少することを想定している

入退去の推移



## 🌸 減益要因 5：障がい者支援事業の状況

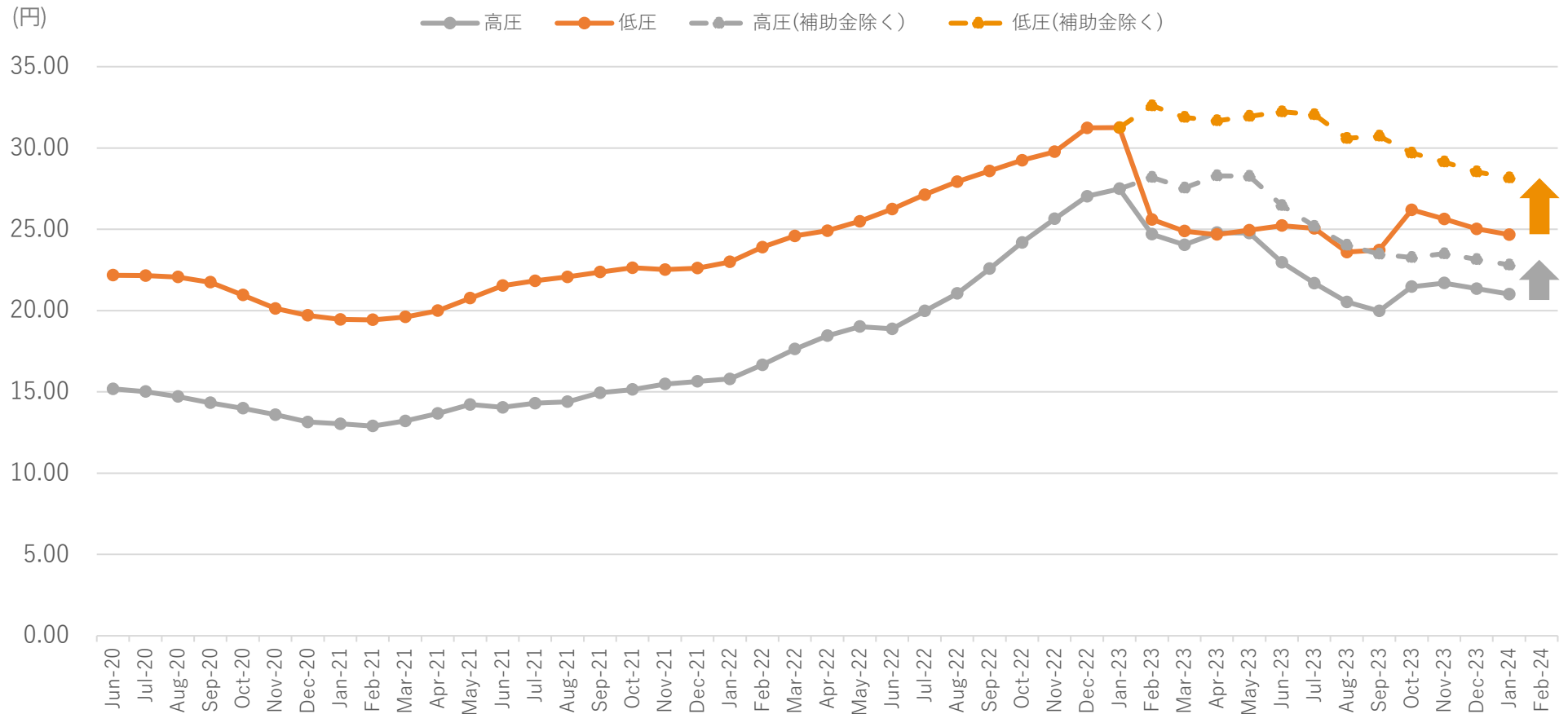
- ✓ 潜在需要が高く高利益率でもある障がい者グループホームの開発を進めているが、運営体制の整備に時間を要しており業績が伸び悩んだが、現状整いつつあり、FY25.3以降は黒字化を見込む
- ✓ FY25.3においても積極的な開発は続けていく予定



# 電気料金単価の状況

- ✓ 2023年2月以降、政府助成金により単価は下落したものの、2024年5月以降は補助金が終了するため、高圧で約14%、低圧で約25%の料金上昇の可能性がある。当社では、契約見直し等の努力により上昇を抑える
- ✓ 当社保有施設では、低圧電力および高圧電力を併用

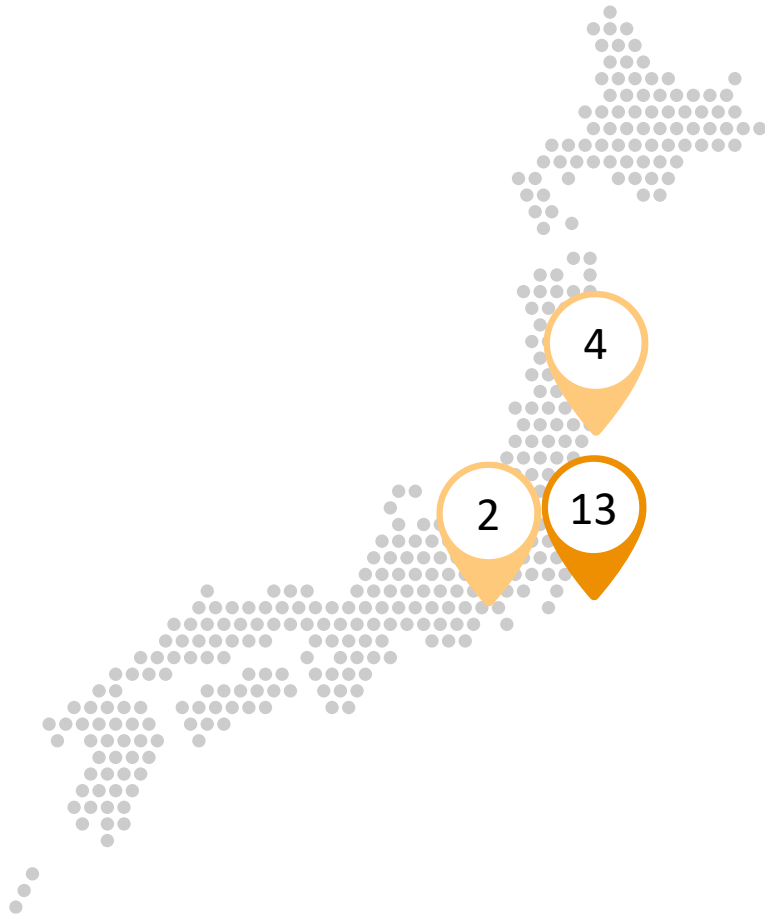
全国電気料金単価の推移



出典 電気・ガス取引監視等委員会  
 助成金額  
 (2023.2-2023.9) 高圧：3.5円 低圧：7円  
 (2023.10-2024.5) 高圧：1.8円 低圧：3.5円

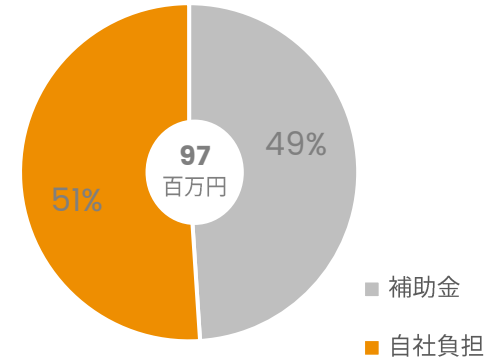


# 太陽光パネルの設置状況



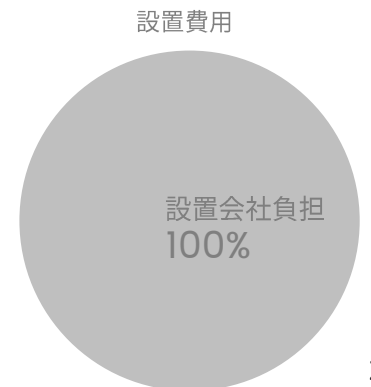
## 自社設置

- ✓ 関東エリアで13か所の有料老人ホーム、グループホームに2024年末までに設置予定（EPC）
- ✓ 電気料の年間削減見込み額は、11.9百万円
- ✓ 投資回収期間は、4.18年を見込む
  - 有料老人ホーム：3.73年
  - グループホーム：5.27年



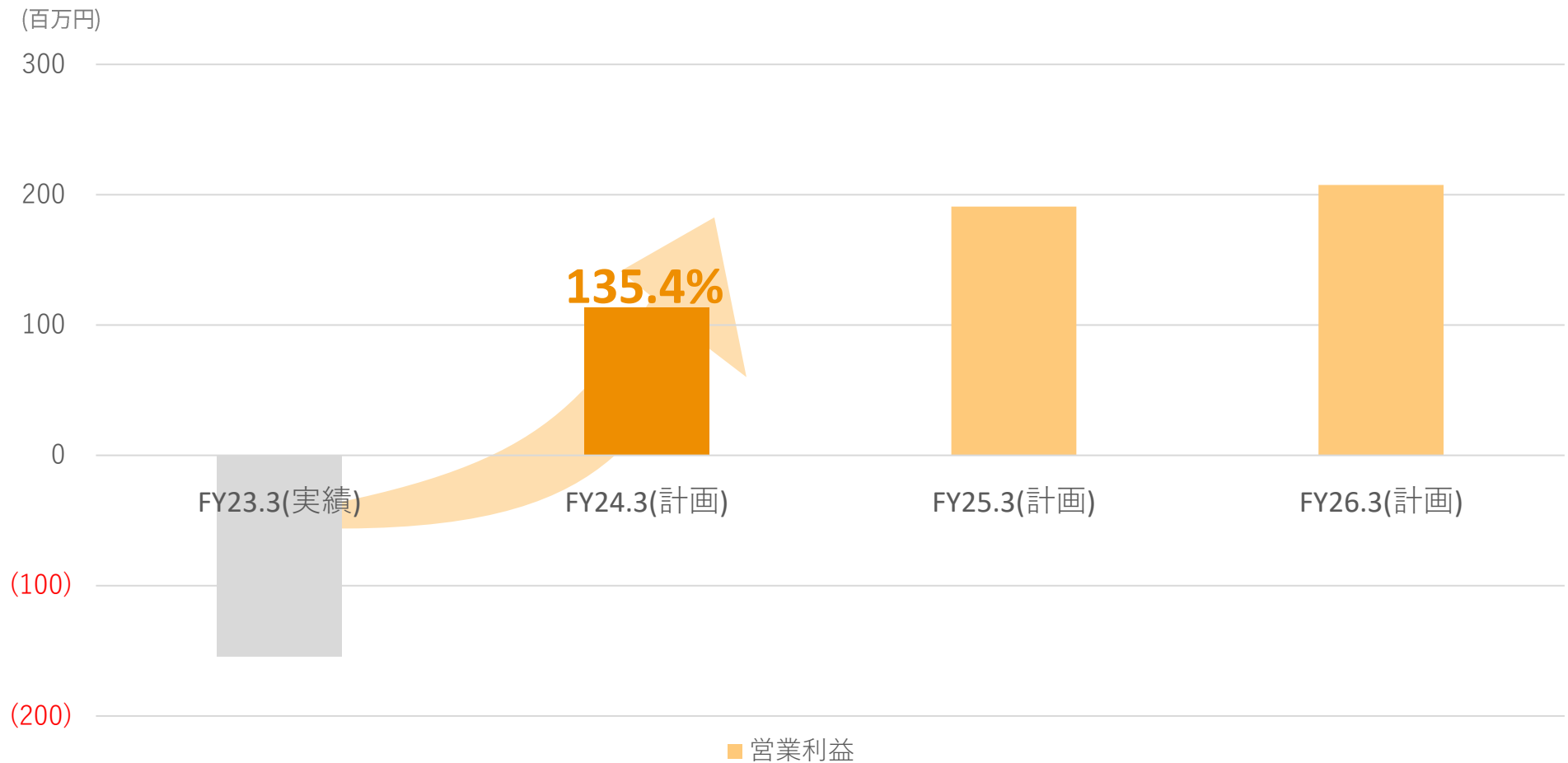
## 他社設置

- ✓ 関東エリア2か所、東北エリア4か所のグループホームでは、他社設置の太陽光発電電力の購入（PPA）
- ✓ 電気料の年間削減見込み額は、1.0百万円



# ブルー・ケア(株)の業績向上

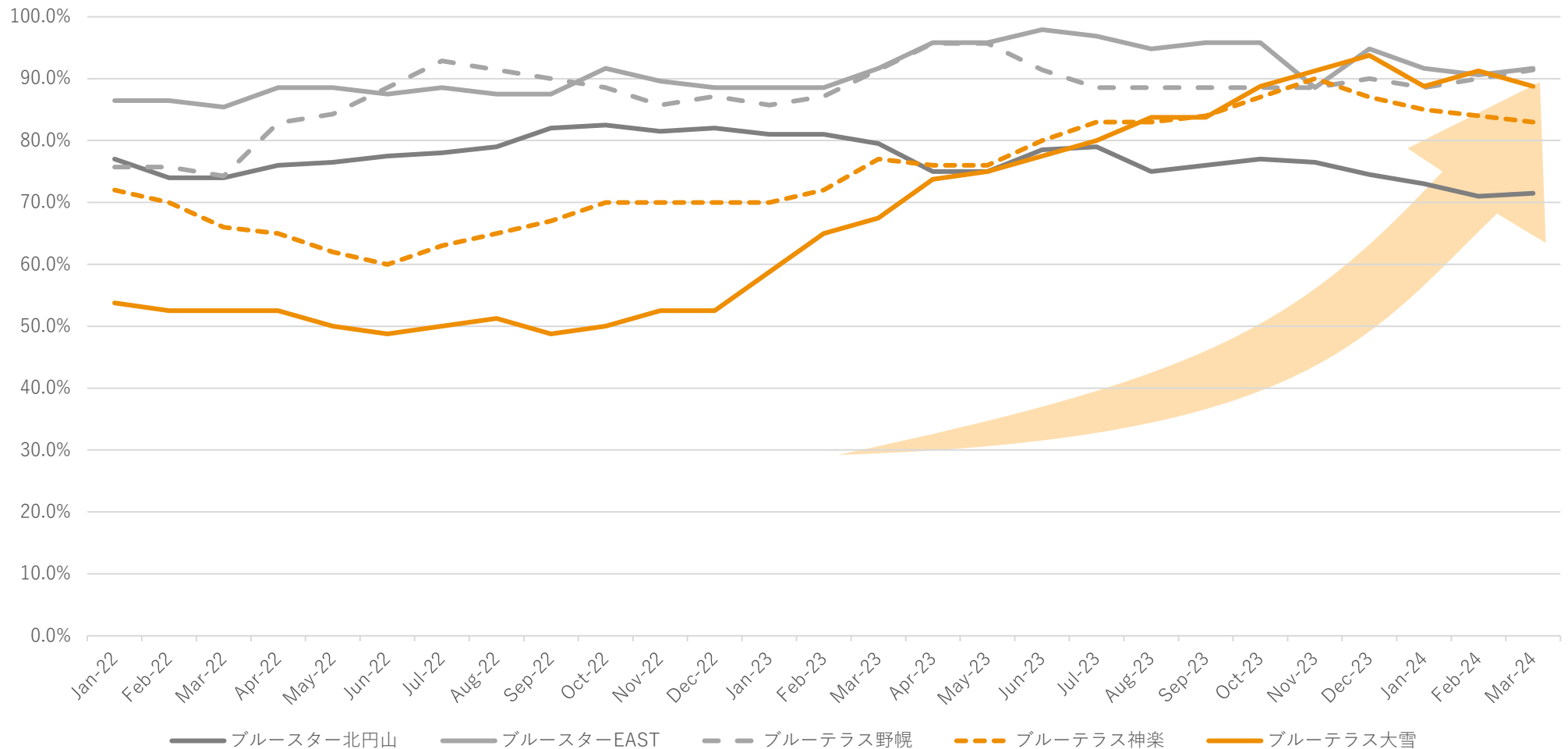
- ✓ 急速に稼働率が向上した結果、今期計画に対し、通期で135.4%を達成



# ブルー・ケア(株)の業績向上：稼働率

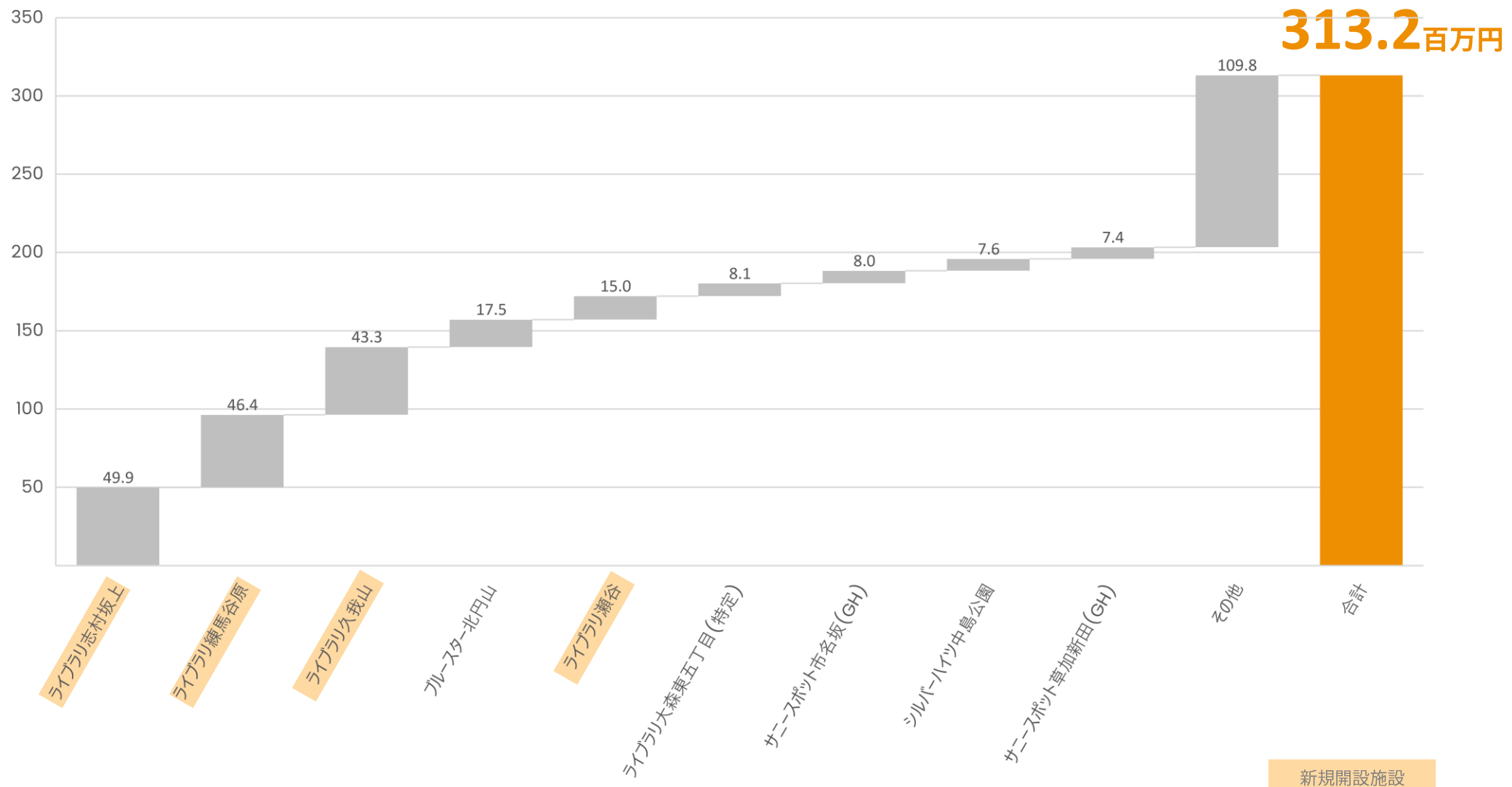
- ✓ 長らく低迷をしていたブルーテラス神楽、ブルーテラス大雪が急速に改善をした結果、全体の利益改善につながった

稼働率の推移



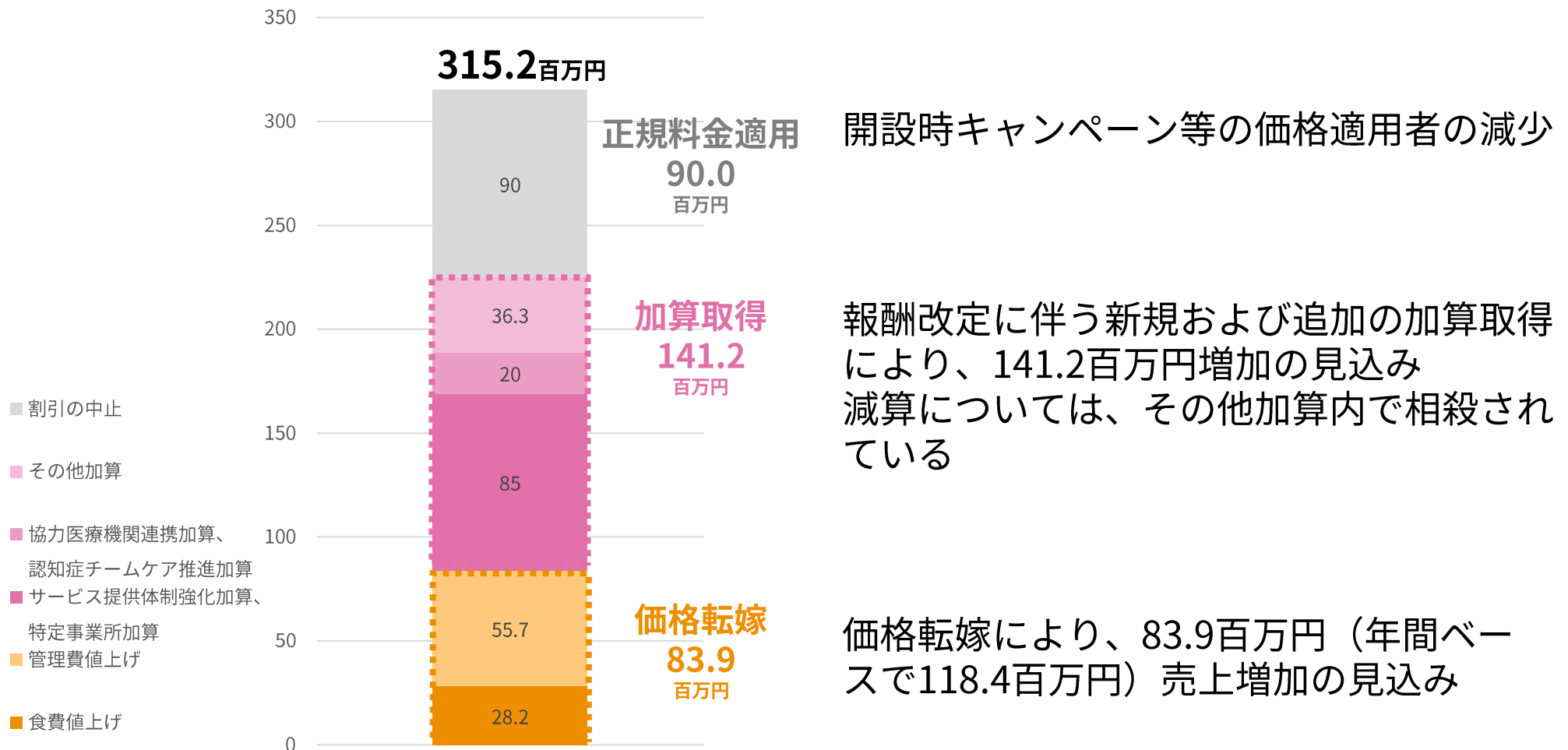
# 今後の営業利益における改善余地（四半期ベース）

- ✓ 稼働率は順調に向上しており、加算取得および価格転嫁を含まず、4Q実績に比べ、現時点の事業で313.2百万円程度（四半期ベース）の営業利益の改善余地がある



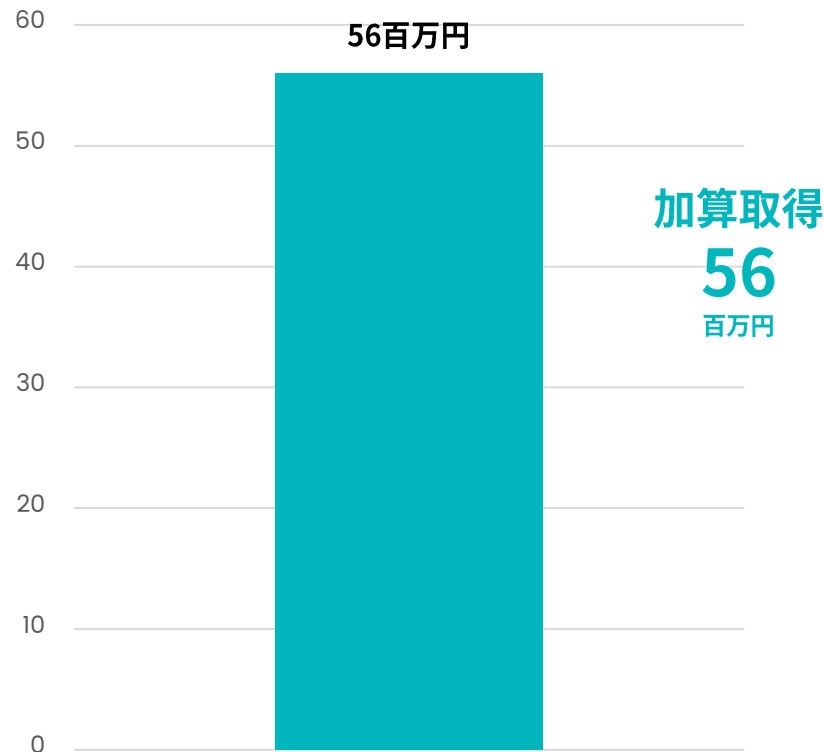
# 事業計画外の改善見込み：営業利益の底上げ [介護事業]

- ✓ FY25.3では、水道光熱費および食材費高騰の価格転嫁、加算取得による売上改善等により、売上高は約**315.2百万円増加**の見込み
- ✓ 2024年度4月の介護報酬改定による増減は、コンサバティブな試算において**+約141.2百万円**を見込んでいるが、今後の精査により**更に上乗せできる可能性がある**



## 事業計画外の改善見込み：営業利益の底上げ [障がい事業]

- ✓ 2024年度4月の介護報酬改定による増減は、コンサバティブな試算において+約56百万円を見込んでいるが、今後の精査により更に上乗せできる可能性がある



報酬改定に伴う新規および追加の加算取得により、56百万円増加の見込み



## 各事業の状況

# ビジネスサマリー

## 介護

自社開発と事業承継を  
両輪として成長

自社開発事業は一定の拡大を予定。事業承継は引き続き推進

- FY24.3では有料老人ホーム4棟をグループホーム12棟と  
**今期計画を達成開設**
- 前年同期比で売上は**+21.1%**
- FY25.3は有料老人ホーム3棟、グループホーム2棟の開設が確定しているが、営業利益確保を優先し、新規の開設スピードを緩める

## 障がい者支援

グループホームに集中

グループホームの開発を最優先として推進

- FY24.3ではグループホーム6棟を開設し、**今期計画を達成**
- 前年同期比で売上は**+50.5%**
- FY25.3はグループホーム5棟の開設が確定しているが、営業利益確保を優先しつつも、総量規制のない現段階での新規開設は積極的に続ける

## 保育

既存園のプログラム改善に注力

厳選した地域での運営に注力

- FY24.3では認可保育園1園を開設し、**今期計画を達成**
- 自治体の新規開設需要が無くなりつつあり、事業計画としてはFY25.3以降の新規出店は見込まない
- 今後は自社プログラムの改善と職員満足度・質の向上および新卒採用の拡大を当面の目標とする



# 🌸 FY24.3 開設実績 (M&A含む)



## 2024年3月末総施設数 (カッコ内はFY24.3増加数)

|   |          |         |
|---|----------|---------|
| 🌸 | 介護       |         |
|   | 有料老人ホーム等 | 41(+4)  |
|   | グループホーム  | 47(+12) |
| 🌸 | 障がい者支援   |         |
|   | 就労継続支援B型 | 9(0)    |
|   | グループホーム  | 20(+6)  |
| 🌸 | 保育       |         |
|   | 認可       | 13(+1)  |
|   | 企業主導     | 2(0)    |
|   | 認可外      | 1(0)    |

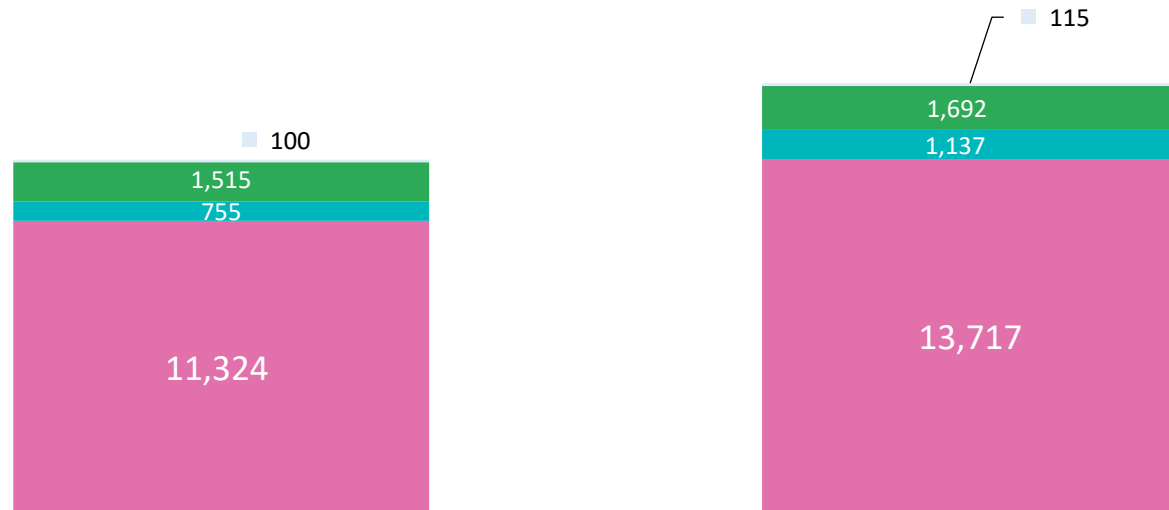
# 事業領域別 売上の推移

■ 介護   ■ 障がい者支援   ■ 保育   ■ その他

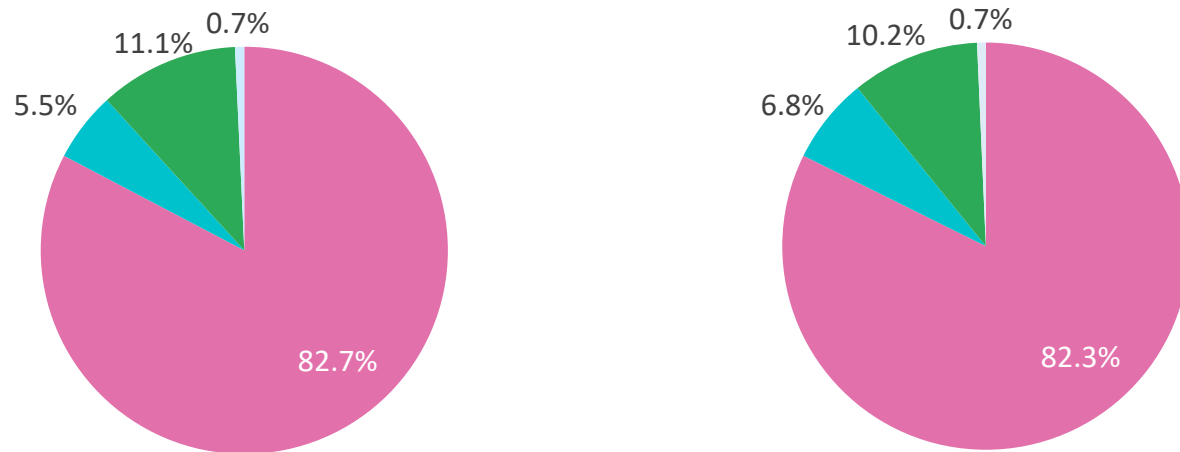
FY23.3通期

FY24.3通期

売上高  
(百万円)



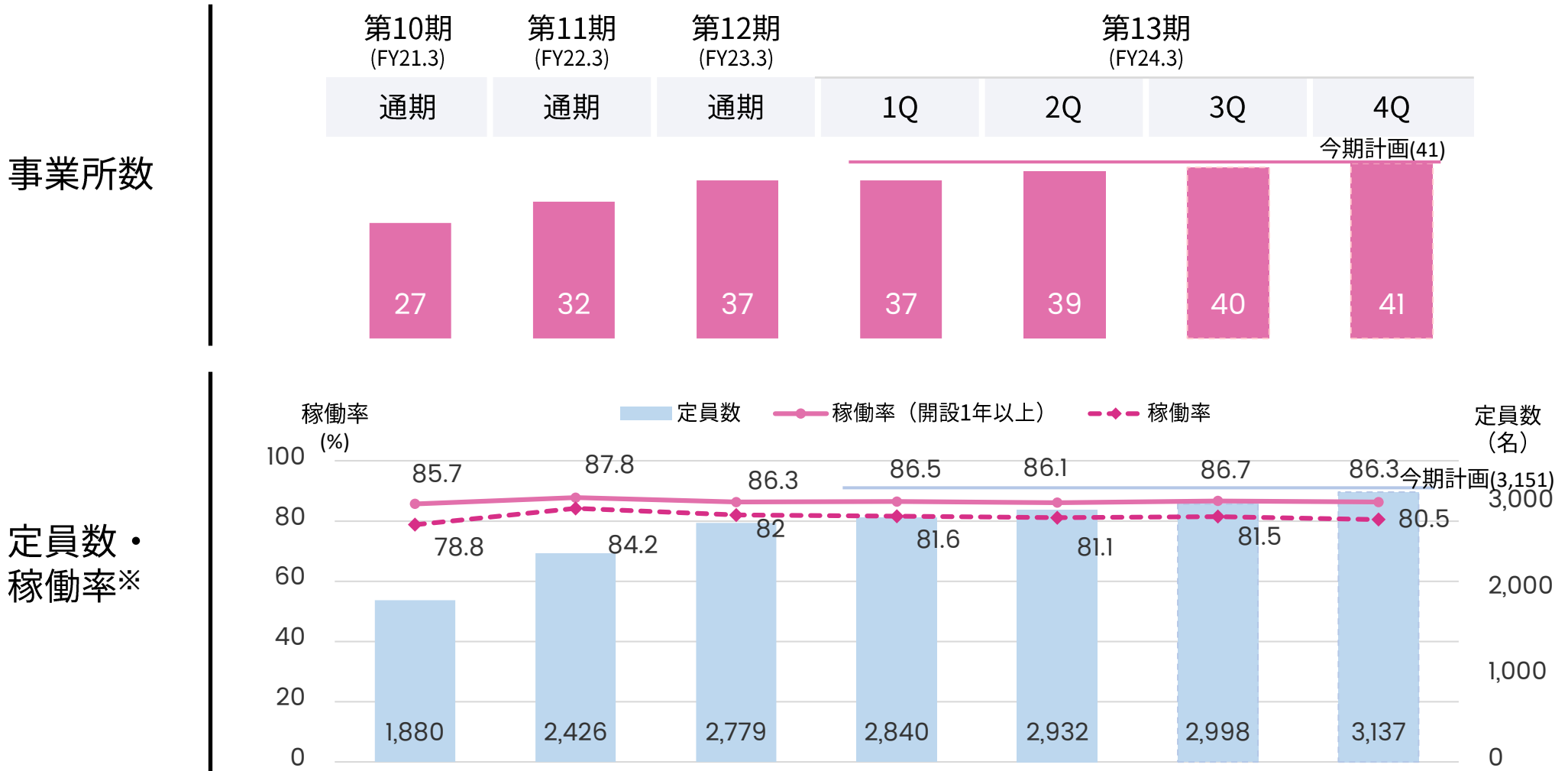
構成比率



# 事業所数・定員数・稼働率の推移

介護：有料老人ホーム等

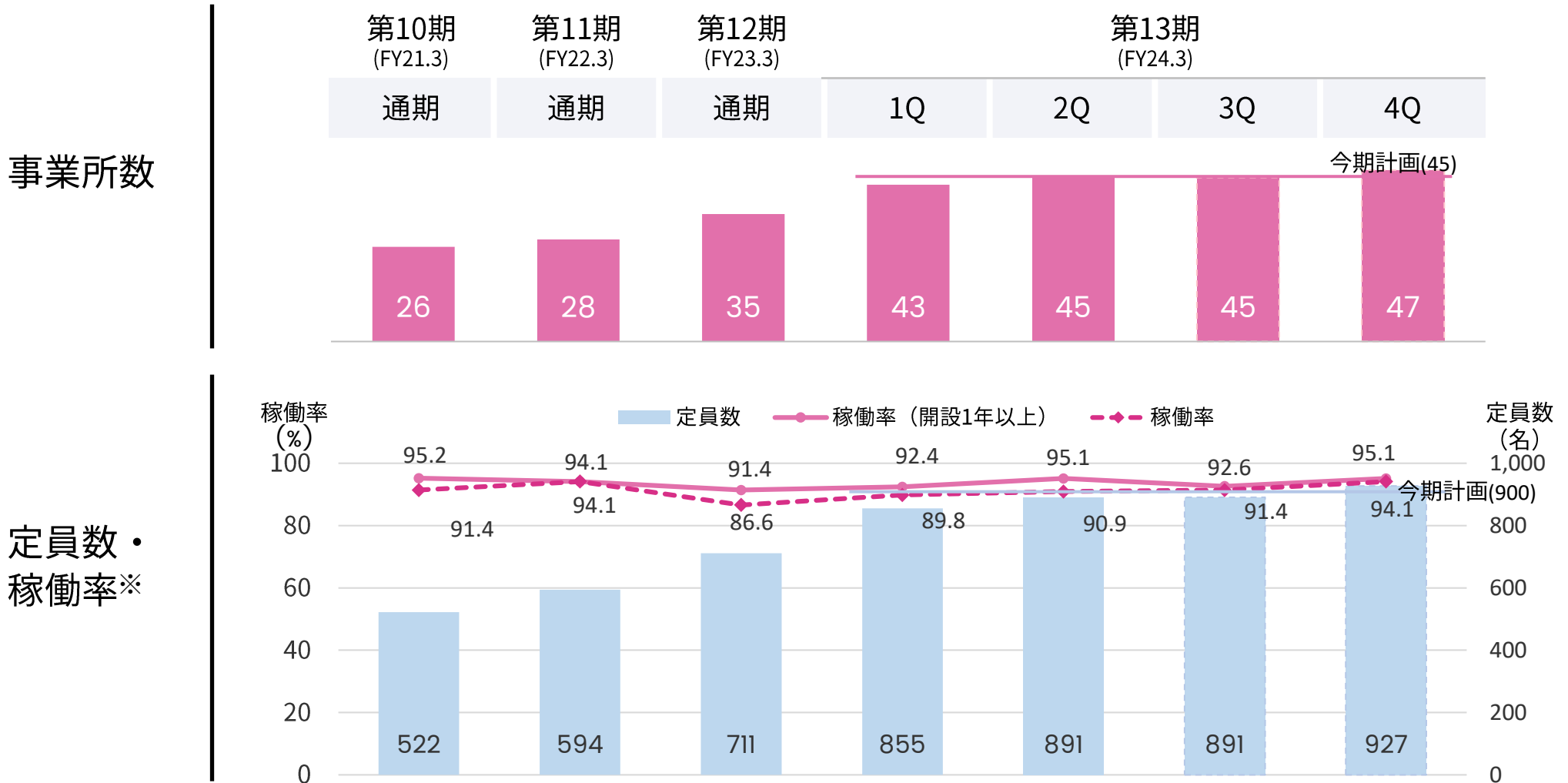
✓ 新規事業所数が増えたために稼働率は低下したが、入居者数は着実に増えている



※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。 稼働率 =  $\frac{\text{各事業所の月末時点の入居者数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$

# 事業所数・定員数・稼働率の推移

- ✓ 4Qにグループホーム2棟を承継、今期計画を超える事業所数となった
- ✓ 開設1年未満の施設の稼働率も高く、全体稼働率は上昇傾向



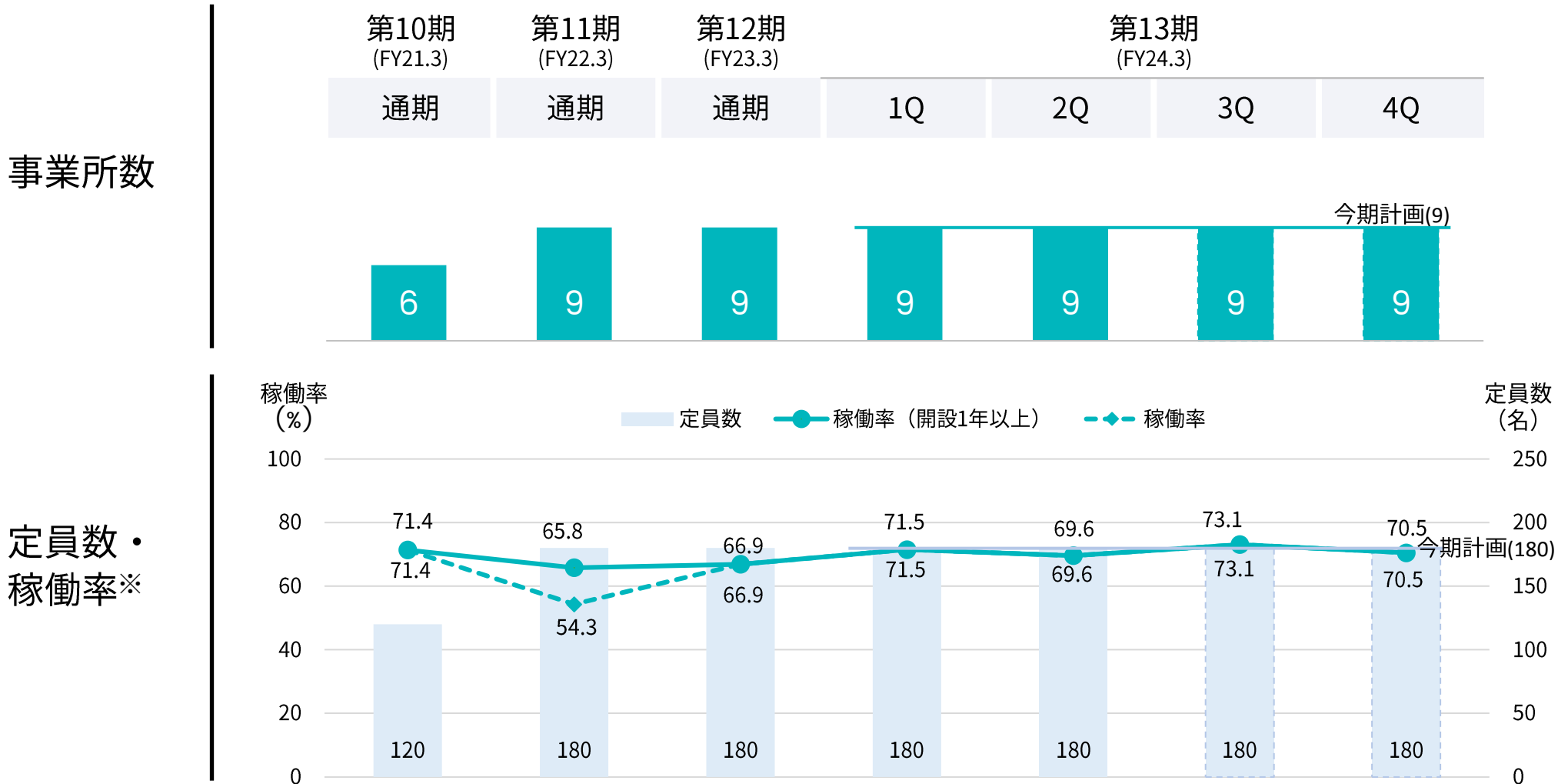
※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。 稼働率 =  $\frac{\text{各事業所の月末時点の入居者数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$



# 事業所数・定員数・稼働率の推移

障がい者支援：就労継続支援B型

✓ 新規開設は行っていないが、既存施設の稼働率はコロナ発生以前と同レベルに回復



※4Q以降は決定済みの開設予定数（2024年2月1日現在）

※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。

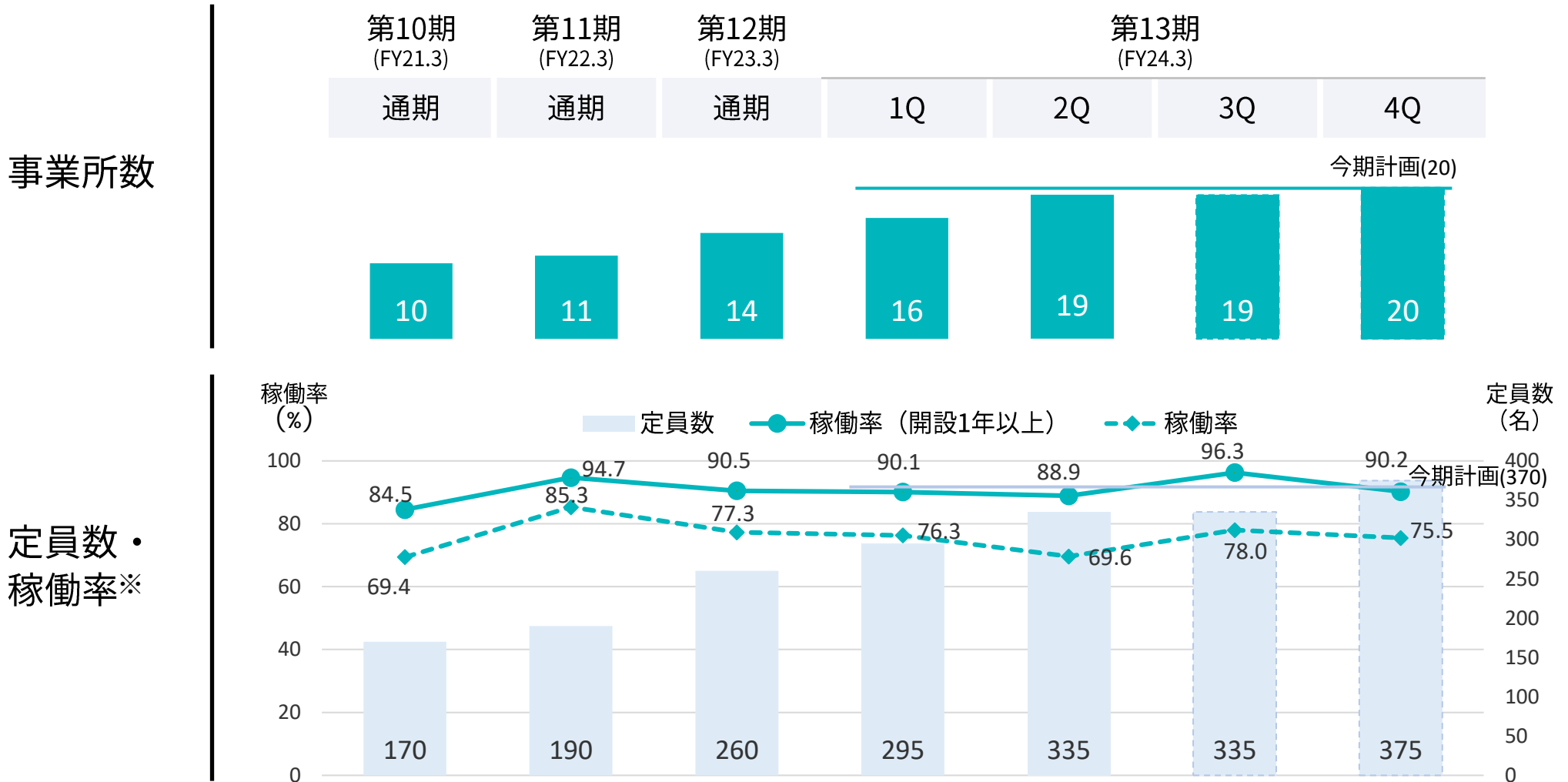
$$\text{稼働率} = \frac{\text{各事業所の月末時点の入居者数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$$



# 事業所数・定員数・稼働率の推移

障がい者支援：グループホーム

- ✓ 新規開設事業の開設が続いたため全体稼働率は下がっているものの、既存施設では稼働率は上昇傾向にある



※4Q以降は決定済みの開設予定数（2024年2月1日現在）

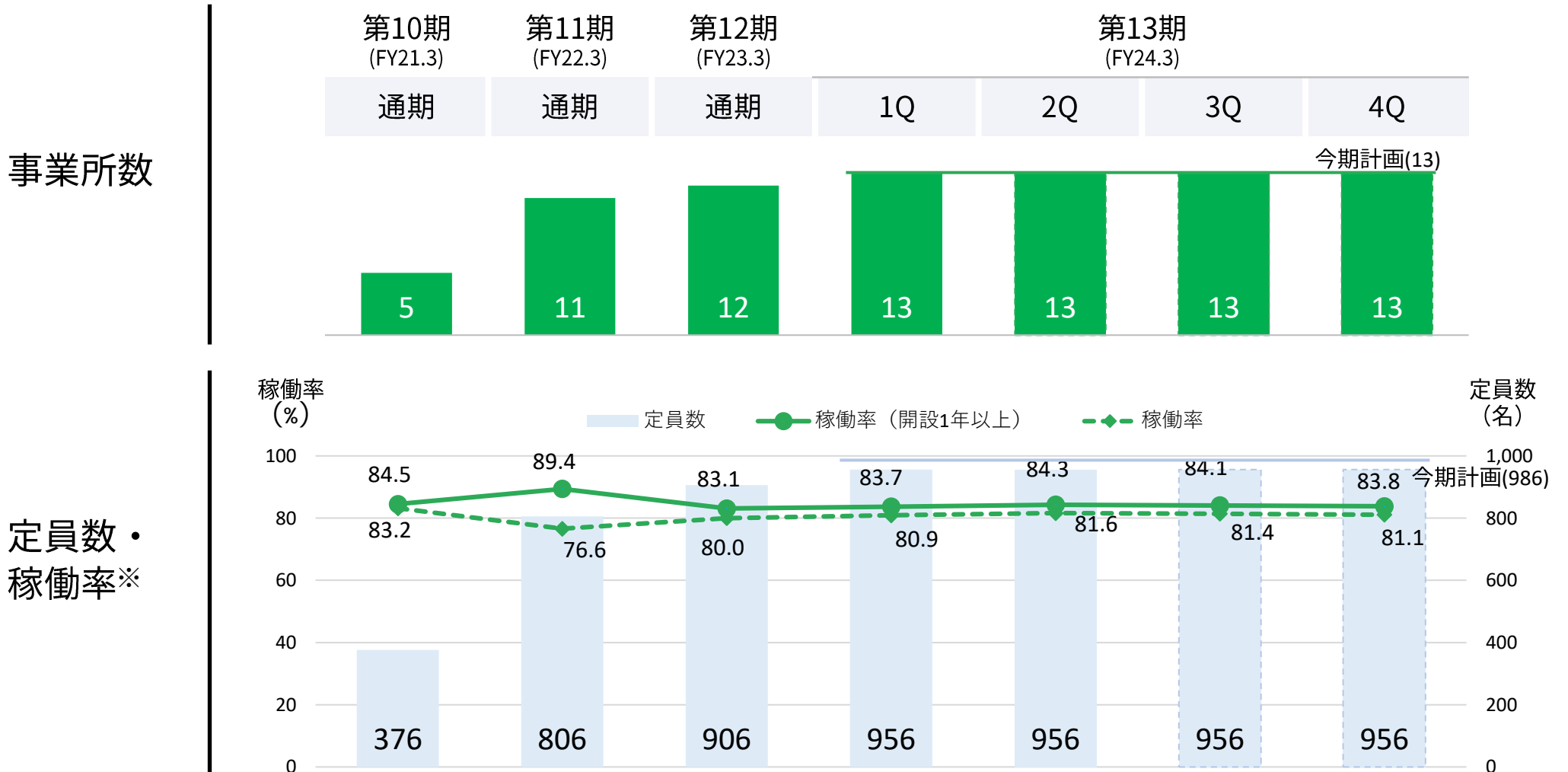
※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。

$$\text{稼働率} = \frac{\text{各事業所の月末時点の入居者数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$$

# 事業所数・定員数・稼働率の推移

保育：認可保育所

✓ 全体稼働は順調に上昇傾向。引き続き稼働率の向上を目指す



※4Q以降は決定済みの開設予定数（2024年2月1日現在）

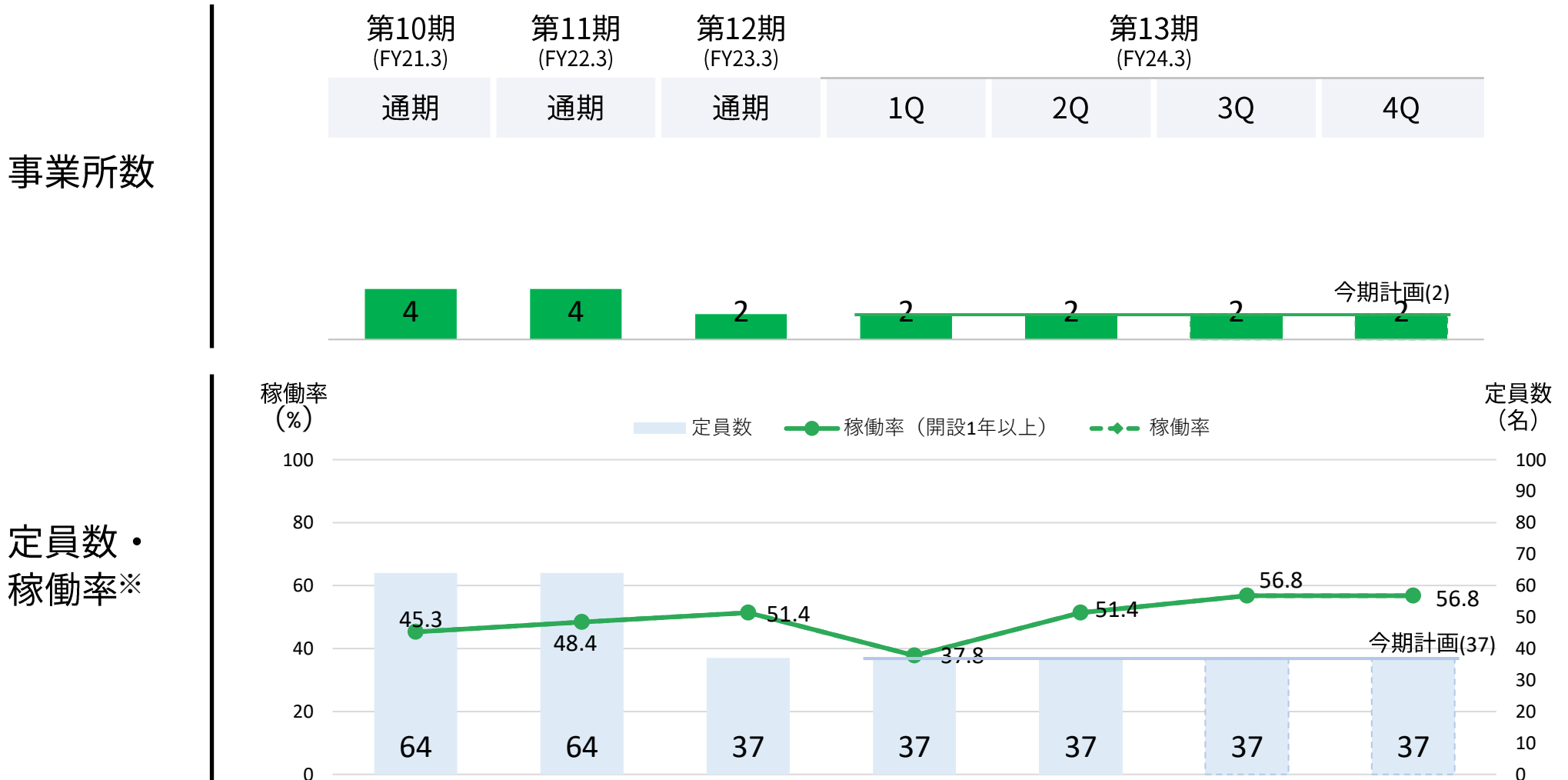
※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。

$$\text{稼働率} = \frac{\text{各事業所の月末時点の入園児数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$$

# 事業所数・定員数・稼働率の推移

保育：企業主導型保育所

✓ 今後は稼働率の向上を狙う



※4Q以降は決定済みの開設予定数（2024年2月1日現在）

※稼働率は各期末時点で右記の通りに算出しています。

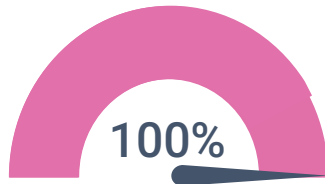
$$\text{稼働率} = \frac{\text{各事業所の月末時点の入園児数の総和}}{\text{各事業所の定員数の総和}}$$



# 事業開発状況

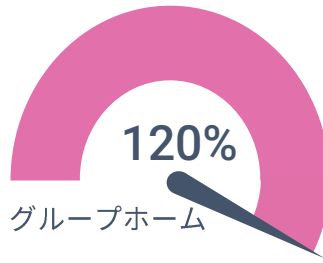
全事業において、計画を達成・超過した

介護



有料老人ホーム

- ✓ 5棟を開設し、今期**計画達成**
- ✓ 定員数は計画を下回る(-14)



グループホーム

- ✓ 3棟を開設、9棟を承継し、**計画超過**

障がい者支援



グループホーム

- ✓ 6棟を開設し、今期**計画達成**

保育



認可保育園

- ✓ 1園を開設し、今期**計画達成**

|          | 2023年3月期・実績 |     | 2024年3月期・計画 |     | 2025年3月期・計画 |     | 2026年3月期・計画 |     |
|----------|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|
|          | 棟数          | 定員数 | 棟数          | 定員数 | 棟数          | 定員数 | 棟数          | 定員数 |
| 介護       | 12          | 470 | 15          | 561 | 8           | 314 | 10          | 318 |
| 有料老人ホーム等 | 5           | 353 | 5           | 372 | 3           | 224 | 3           | 201 |
| グループホーム  | 7           | 117 | 10          | 189 | 5           | 90  | 5           | 117 |
| 障がい      | 3           | 70  | 6           | 110 | 10          | 200 | 12          | 240 |
| グループホーム  | 3           | 70  | 6           | 110 | 10          | 200 | 12          | 240 |
| 就労継続支援B型 | 0           | 0   | 0           | 0   | 0           | 0   | 0           | 0   |
| 保育       | 1           | 100 | 1           | 80  | 0           | 0   | 0           | 0   |
| 認可保育所    | 1           | 100 | 1           | 80  | 0           | 0   | 0           | 0   |



# FY24.3以降の開発実績・予定

開設済み

| 事業領域     | 事業所種類    | 施設名            | 所在地      | 開設予定時期   | 定員数(名) | 備考           |
|----------|----------|----------------|----------|----------|--------|--------------|
| 介護事業     | グループホーム  | ライブラリ福室        | 宮城県仙台市   | 2023年4月  | 18     | 認知症対応型共同生活介護 |
|          | 有料老人ホーム等 | ライブラリ志村坂上      | 東京都板橋区   | 2023年5月  | 93     | 住宅型有料老人ホーム   |
|          | 有料老人ホーム等 | ライブラリ仙台小田原     | 宮城県仙台市   | 2023年7月  | 92     | 介護付き有料老人ホーム  |
|          | グループホーム  | ライブラリ台原        | 宮城県仙台市   | 2023年7月  | 18     | 認知症対応型共同生活介護 |
|          | グループホーム  | ライブラリ宮原        | 埼玉県さいたま市 | 2023年7月  | 18     | 認知症対応型共同生活介護 |
|          | 有料老人ホーム等 | ライブラリ瀬谷        | 神奈川県横浜市  | 2023年7月  | 61     | 介護付き有料老人ホーム  |
|          | 有料老人ホーム等 | ライブラリ久我山       | 東京都杉並区   | 2023年10月 | 66     | 介護付き有料老人ホーム  |
|          | 有料老人ホーム  | ライブラリ柏中央       | 千葉県柏市    | 2024年3月  | 71     | 住宅型有料老人ホーム   |
|          | グループホーム  | ライブラリ横浜丸山      | 横浜市磯子区   | 2024年4月  | 27     | 認知症対応型共同生活介護 |
|          | 有料老人ホーム  | ライブラリ朝霞        | 埼玉県朝霞市   | 2024年6月  | 68     | 住宅型有料老人ホーム   |
|          | グループホーム  | ライブラリ神戸摩耶      | 兵庫県神戸市   | 2024年6月  | 27     | 認知症対応型共同生活介護 |
|          | 有料老人ホーム  | ライブラリ井荻        | 東京都杉並区   | 2024年7月  | 71     | 介護付き有料老人ホーム  |
|          | 有料老人ホーム  | ライブラリ上本郷       | 千葉県松戸市   | 2024年10月 | 70     | 住宅型有料老人ホーム   |
|          | 有料老人ホーム等 | ライブラリ世田谷深沢     | 東京都世田谷区  | 2025年4月  | 65     | 住宅型有料老人ホーム   |
|          | 有料老人ホーム等 | ライブラリ下総中山      | 千葉縣市川市   | 2025年8月  | 71     | 住宅型有料老人ホーム   |
| 障がい者支援事業 | グループホーム等 | サニースポット福室      | 宮城県仙台市   | 2023年4月  | 10     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム等 | サニースポット相模原鶉野森Ⅰ | 神奈川県相模原市 | 2023年6月  | 20     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム等 | サニースポット宮原      | 埼玉県さいたま市 | 2023年7月  | 20     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム等 | サニースポット相模原鶉野森Ⅱ | 神奈川県相模原市 | 2023年9月  | 20     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム等 | サニースポット柏増尾     | 千葉県柏市    | 2023年9月  | 20     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム  | サニースポット東橋本Ⅰ    | 相模原市緑区   | 2024年3月  | 20     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム  | サニースポット北柏      | 千葉県柏市    | 2024年8月  | 20     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム  | サニースポット淵野辺三丁目Ⅰ | 相模原市中央区  | 2024年9月  | 20     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム  | ライブラリ上本郷       | 千葉県松戸市   | 2024年10月 | 20     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム等 | サニースポット下総中山    | 千葉縣市川市   | 2025年3月  | 20     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム  | サニースポット東橋本Ⅱ    | 相模原市緑区   | 2025年3月  | 20     | 共同生活援助       |
|          | グループホーム  | サニースポット淵野辺三丁目Ⅱ | 相模原市中央区  | 2025年9月  | 20     | 共同生活援助       |
| 保育事業     | 認可保育所    | きゃんばす中野保育園     | 東京都中野区   | 2023年4月  | 70     | 認可保育所        |



# 株主還元について

## 株主還元についての考え方

配当については、中長期的な事業計画に基づき、市場競争力の維持や収益の向上に不可欠な投資等を実行するための内部資金の確保と配当の安定的な成長を念頭に、財政状態、利益水準及び配当性向等を総合的に勘案して決定することとしています。また、自己株式の取得については、事業計画に基づく資金需要や市場の環境等に応じて、配当を補完して機動的に実施するほか、将来の株主価値の最大化を目的とした事業再編を含む機動的な資本政策の実行を可能とするため、配当方針と統合的な範囲において実施することとしています。

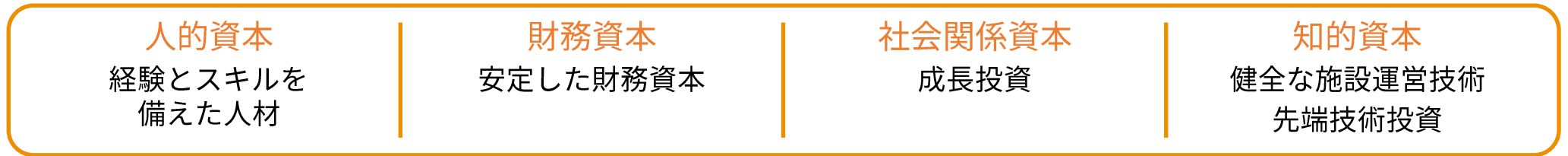
### 配当

2025年3月期以降で検討をしています。



## SDGs/ESGsへの取組み

# リビングプラットフォームの価値創造プロセス



INPUT

## 事業の収益化

開設1年を目途に定常化させ、安定的な収益を生み出していきます

## 社会福祉における課題の発見

持続可能な社会保障制度の基盤創りに民間企業として貢献できる課題を発見します

## 事業開発

開発ロジックに基づき、自社開発と事業継承の両輪で開発を進めます

## サービスの創出

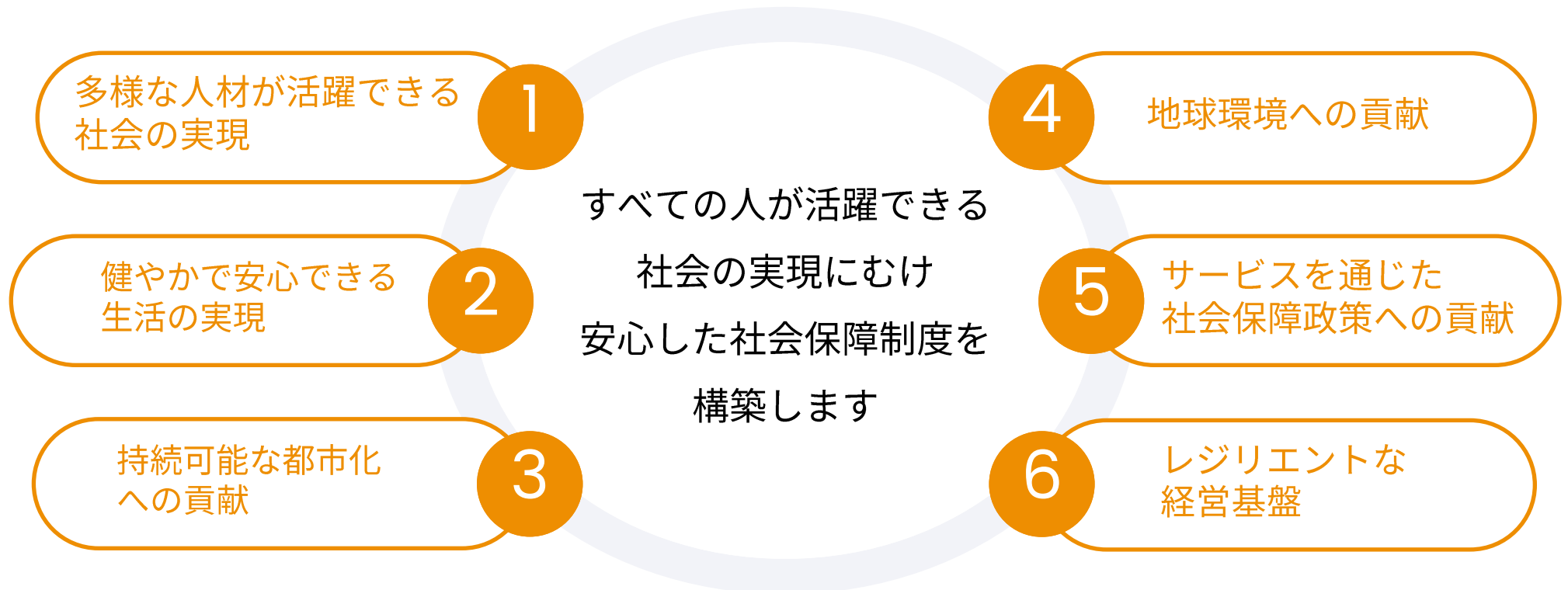
課題解決にむけて持続可能なアプローチでサービスを創出します



# 🌿 サステナビリティへの取り組み

「すべての人が活躍する社会へ」  
持続的な社会づくりと継続的な事業成長

さまざまな社会問題が深刻化する中、平和で豊かな持続可能な社会の実現に向けた世界共通のテーマである「SDGs」への取り組みが企業に求められています。  
当社では「すべての人が活躍する世の中を」というコンセプトのもと、6つのテーマをマテリアリティとして特定しています。生産性、資本、労働力それぞれの面から社会福祉を考えることで、民間企業による持続可能な社会保障制度を構築することを目指しています。



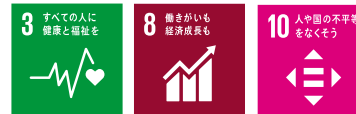
# サステナビリティへの取り組み

## 多様な人材が活躍できる 社会の実現



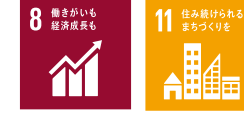
1. 介護・保育・障がい者支援を通じて、人々の働く機会を最大化
2. 成長をけん引する人材開発のための教育機会の創出
3. 社員と利用者のダイバーシティ & インクルージョン

## 健やかで安心できる 生活の実現



1. 誰もが容易に利用可能かつ生活レベルの維持・向上を可能にする社会福祉施設の提供
2. 社会福祉施設提供を通じた介護離職・保育離職の防止

## 持続可能な都市化 への貢献



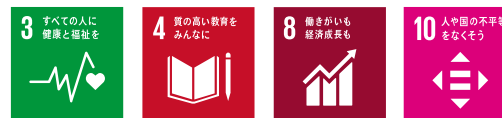
1. コンパクトシティ構想に準じた施設開拓
2. 先進的な職場環境による生産性の向上

## 地球環境への貢献



1. 自然エネルギー普及を通じた豊かな社会の実現
2. 保有施設における水の再利用

## サービスを通じた 社会保障政策への貢献



1. 持続可能な社会保障インフラの整備
2. 先進的な職場環境を通じた労働環境の改善

## レジリエントな 経営基盤



1. 強固なコーポレート・ガバナンス
2. 持続的な経営発展
3. 社員の幸福度の向上



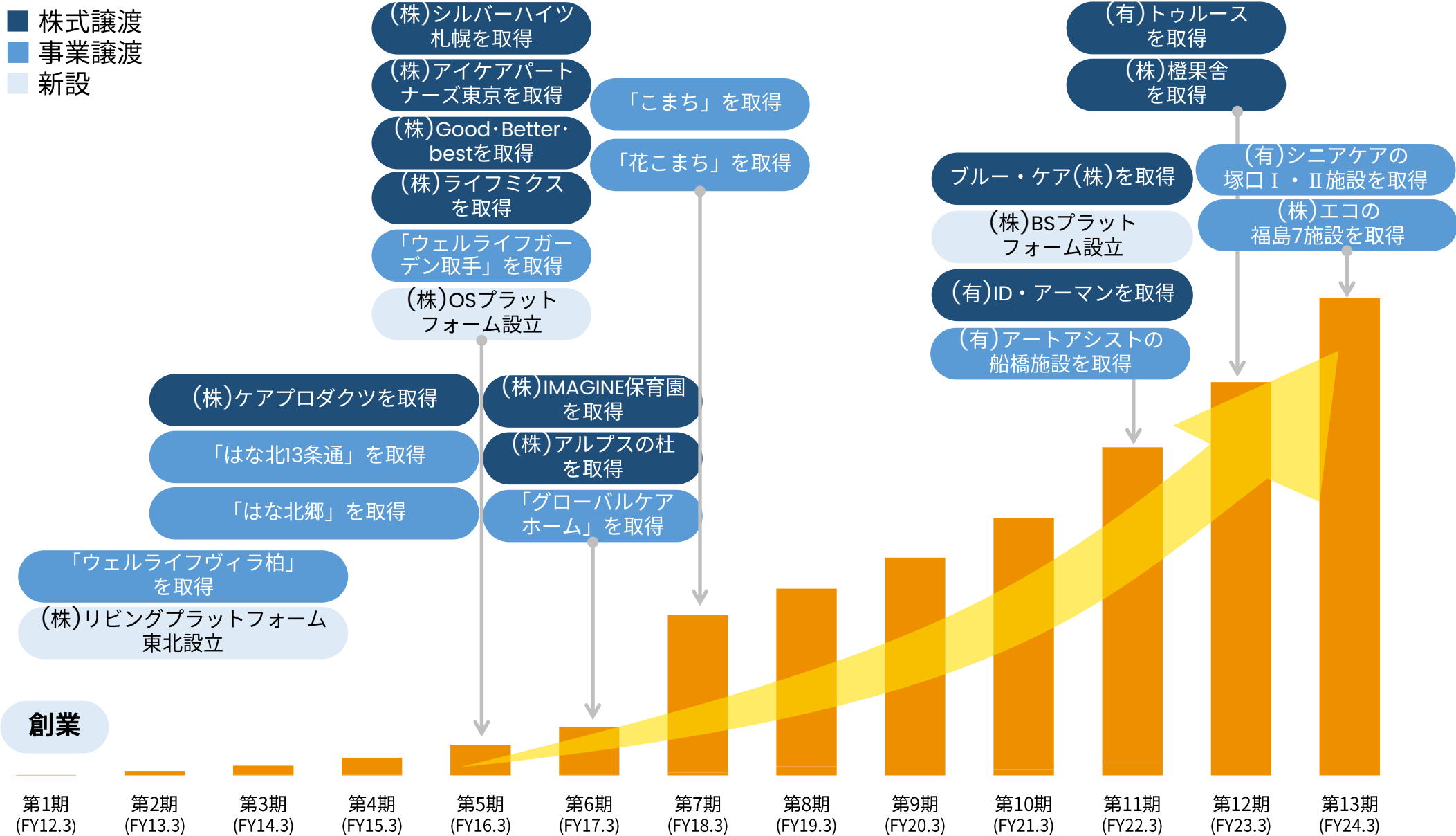


# 会社概要および事業領域等

# 会社概要

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 会社名    | 株式会社リビングプラットフォーム  |  |
| 役員     | 代表取締役<br>取締役<br>取締役<br>取締役（社外取締役）<br>取締役（社外取締役）<br>取締役（社外取締役）<br>監査役（社外監査役）<br>監査役（社外監査役）<br>監査役（社外監査役） | 金子 洋文<br>林 隆祐<br>柳 慎一<br>田中 宏明（弁護士）<br>河江 健史（公認会計士）<br>平尾 喜昭<br>後藤 充宏（公認会計士）<br>片倉 秀次（弁護士）<br>角野 里奈（公認会計士） |
| 設立日    | 2011年6月28日  |  |
| 上場日    | 2020年3月17日（東京証券取引所マザーズ市場（現グロース市場））<br>証券コード：7091  |  |
| 社員数    | 3,169名（パート社員含む）   |  |
| グループ会社 | 株式会社リビングプラットフォームケア<br>株式会社OSプラットフォーム<br>株式会社シルバーハイツ札幌<br>株式会社ナーサリープラットフォーム<br>有限会社トゥルース                 | 株式会社チャレンジプラットフォーム<br>株式会社BSプラットフォーム<br>ブルー・ケア株式会社<br>有限会社ID・アーマン   |

# 積極的なM&Aによる拡大



## 事業領域

(株)リビングプラットフォームは「持続可能な社会保障制度を構築する」ことを理念に掲げ、民間企業として、全国各地に「介護」＋「障がい者支援」＋「保育」推進のための施設及びサービスを三位一体で提供します。



# 主な事業領域



## 介護

効率的で職員採用が有利な施設介護がメイン

### 施設介護

介護療養型

介護老人保健施設（老健）

特別養護老人ホーム（特養）

高齢者グループホーム

有料老人ホーム※1

その他

### 在宅介護※2

訪問介護

訪問看護

訪問入浴

訪問リハビリテーション

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

居宅介護支援

通所介護

その他

当社の事業領域

※1 有料老人ホームは、「特定施設（介護付き施設）」と「サ高住・住宅型」に分かれる。

また、「サ高住・住宅型」には、訪問介護、訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、住宅介護支援の一部が含まれる。

※2 当社の在宅介護は有料老人ホームにおいて提供するため、実質的には介護施設となる。

# 主な事業領域



## 障がい者支援

競争の少ない「住む場所の支援」と「初期段階の就労支援」

### 訪問

居宅介護（ホームヘルプ）  
重度居宅介護  
同行援護  
行動援護  
その他

### 施設

施設入所支援

### 日中活動

生活介護  
その他

### 訓練・就労

自立訓練（機能訓練）  
自立訓練（生活訓練）  
就労移行支援  
就労継続支援A型  
**就労継続支援B型**  
就労定着支援

### 居住支援

自立生活援助  
**共同生活援助（グループホーム）**

**当社の事業領域**

# 主な事業領域



## 保育

認可の他、病児保育を併設する企業主導型も展開

### 市町村全体

施設型

**認可保育所**

幼稚園

認定こども園

地域型

小規模保育

家庭的保育

居宅訪問型保育

事業所内保育

### 国全体

**企業主導型保育**

その他

**当社の事業領域**

## 免責事項及び開示方針

本資料には、将来に関する見通し、期待、判断、計画、戦略等が含まれています。

この将来予測に基づく記載は、事業需要変動、事業開発スケジュール変動、各種制度変更、自治体等の指導変更、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。

また、これらの記載は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、当社の現在の期待とは実体的に異なる場合がありますのでご了承下さい。

このような違いは、多数の要素やリスクが原因となり得ますので、これらの要素やリスクについては、当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

お問い合わせ先

株式会社リビングプラットフォーム  
コーポレートコミュニケーション室  
✉ [ir@living-platform.com](mailto:ir@living-platform.com)